京城日報
十二日夕刊
定價 一部金二錢五厘一ヶ月金五拾錢 郵稅一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分二圓六ヶ月分 郵券代用二割増
廣告料 五號活字十六字詰壹行金八拾錢 二號活字八字詰壹行金貳圓 三號活字十字詰壹行金壹圓 六號活字二十一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話 編輯用三四五番 營業用三二六番 一二六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎對獨斷交宣言期如何

支那政府は十一日參議院にて多數の贊成を得ば十二日を以て對獨國交斷絶を宣言する決心なり（北京特電）

◎開戰を仄かす 米國の商船武裝發表

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏は九日夜封鎖區域に航行す可き米國商船の武裝を爲す所に決せる旨を發表し本月中に獨逸と戰端を開くに至るやも知れずとの信念を仄かせり而して海軍ダニエル氏は米國船の出入を秘す可き命令を發し無電信局に通信を拒否す可きを命ぜり（紐育電報）

▲獨外と相對米關係

伯林來電＝獨逸外相チンメルマン氏は曰く「我等は最終の勝利を博する迄潜航艇戰を繼續するの決心を有す而して米獨の開戰するや否やは一に繫つて米國大統領の決心如何にあり」と同外相は獨米間の古き條約の結果米國は其領海內にある獨逸船を沒收する能はざるを力說し尙語を繼いで曰く「我等は現時に於ける一般の軍事的地位殊に潜航艇戰の結果に就き滿足せり余は獨逸の他中立國との關係を確定せん事を希望す獨逸は今日中立國との關係を變更す可き何等の理由を想像する能はず」と（紐育電報）

▲米國臨時議會の召集 商船武裝の爾後承諾案提出

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏は政府の諸政策に就て報告する必要を豫想し四月十六日を以て臨時議會を召集したり傳ふる所に依れば米國商船數隻は政府が商船に武裝を行ひ終るを待つて直ちに獨逸の潜航水雷艇封鎖區域內に向け發港する筈なり然れども其船名は公表せられざる可し大統領の臨時議會を召集せしは商船武裝の爾後承諾を得るに有りと（紐育電報）

◎米國大使後任

故ガスリー氏の後任たる米國駐日大使として任命さる可きは現任ブラジル駐在米大使モルガン氏ならんと（桑港電報）

◎理研發起人饗應 定例閣議繰上

十三日の定例閣議を十二日午前に繰上げ開會首相以下在京中の各大臣出席重要政務の打合をなしたる上正午首相官邸に理化學研究所發起人を招待し午餐の饗應をなせり（東京電報）

◎外相山公訪問

本野外相は十一日山縣公を小田原古稀庵に訪問 外交上の重要事項經過を報告し歸京せり（東京電報）

◎金塊石炭運賃の昂騰

金塊及び石炭の輸送運賃又復昂騰せり（東京電報）

◎內相築港視察

後藤內相十二日朝築港其他を視察し十三日神戶に赴く筈（大阪特電）

◎露領と苦力招致

極東總督ゴンダッチ將軍は有名なる極東露領支那人排斥論者なる處歐戰の結果沿海州方面に於ける勞働者の缺乏を告げ來れるを以て已むなく多年の政策に反し今春大に支那苦力を招致し沿海州に於ける各工事に從事せしむるに決定し露曆三月上旬頃哈爾賓に來りて之れを商議す可しと（奉天電報）

◎地方費決算

大正四年度地方費決算を聞くに歲入經常部一、五〇四、〇七二圓臨時部一、八六三、〇八九圓合計三、三六七、一六一圓に對する歲出經常部九三三、八九九圓臨時部一九〇、五六八圓合計一、八三九、四六七圓にして差引殘高五二七、六九四圓は之れを翌年度に繰越す筈なり今歲入出の內譯を揭げれば左の如し

▲歲入 地方費課金一、四六二、二一〇圓（[illegible]）雜收入四九、八二三圓前年度繰越金四二〇、五六八圓國庫補助一、四一四、一九五圓寄附金二〇、三六六圓計三、三六七、一六二圓

▲歲出 土木費八二三、二三八圓衛生費五五、九七七圓救恤及び慈善費八、四五六圓勸業費四六九、一六三圓教育費一七一、四二八圓補助費八〇、八二七圓雜費八、三一〇圓共進會費八五、四一〇圓計二、八三九、四六五圓

◎司法官更迭

三月十日附を以て左の通り辭令あり

補京城地方法院判事 大邱地方法院判事 西山久二郎
豫審掛を命ず 京城地方法院判事 野村調太郎
豫審掛を免ず 大邱地方法院判事 末廣清吉
補咸興地方法院慶興支廳判事 咸興地方法院江陵支廳判事 福田武一郎
補咸興地方法院北靑支廳判事 咸興地方法院慶興支廳判事 木村鏡次郎
補咸興地方法院江陵支廳判事 咸興地方法院北靑支廳判事 渡邊勇次郎
補海州地方法院瑞興支廳判事 公州地方法院江景支廳判事 中澤金吾
補公州地方法院江景支廳判事 平壤地方法院定州支廳判事 中村要三郎
補平壤地方法院定州支廳判事 光州地方法院木浦支廳判事 鈴森林次
補平壤地方法院瑞山支廳判事 平壤地方法院鎭南浦支廳判事 小出俊雄
補光州地方法院南原支廳判事 海州地方法院瑞興支廳判事 岡崎隆

▲支那遣日特使 汪氏の行裝

十一日北京出發の汪遣日特使の隨員は八名にて劉崇侯氏の外國務院、外交部、陸軍、參謀兩部より分派する事となれり汪氏は大勳章の外大箱十五個に滿裝せる陶器、古物等を攜帶す可く右は何れも公府の珍藏に係る極貴精美の逸品にて我首相及び各大臣に贈與す可き物なり此の外汪氏は交際上私用の贈品として二千五百元程の物を整へたり一行の行程は二週間を限りとし經費二萬元の豫定なりと（北京）

▲滿鮮鐵行程

汪遣日特派大使一行十二名は十二日午前八時北京發十二日午前五時二十分京奉特別急行にて奉天着ヤマトホテルに入り休憩し同八時十分安奉線にて出發朝鮮鐵道經由の豫定なり滿鐵會社は特別專用車、展望車各一輛を聯結して一行の乘用に供し同車は釜山迄直通する筈なりと（奉天）

▲京城通過期

支那特派大使汪大燮氏一行は十二日午前八時奉天出發の旨赤塚總領事より總督府外事課長宛電報あり一行は十三日午前八時南大門驛通過南行すべし

▲東京到著期

支那特使汪大燮氏は十四日午前七時馬關到著特別列車に搭乘入京の筈也（東京電報）

▲特別車差廻し

鐵道院にては支那特使汪大燮氏の乘用に供する爲め今十二日特別列車を下の關に差廻したり（東京電報）

◎古海總長巡閱

古海警務總長、亥角警務官、西友、勝野兩警視太田副官外五名を隨へ十二日午前九時卅分本町警察署を巡閱す

◎船員被服規定改正

十三日附訓令を以て鄕船乘組雇員被服貸與規程中改正の件を發布の筈なるが本令は被服貸與表中夏衣袴員數一組を二組に變更せるものなり

◎城覆審法院長歸任

本月五日出發原州地方法院支廳に出張せる城覆審法院長は十一日夜南大門驛著列車にて歸任せり

◎京畿幹部會

京畿道にては十二日午前九時半松永長官室に幹部會を開催し一般事務の連絡其他に關し種々打合を爲す所ありたり

◎東拓所長會議

東洋拓殖會社出張所長會議は十三日より十七日まで五日間同社樓上會議室に於て開催の事となれり會議の日程左の如し

	午前	午後
第一日（十三日）	業務狀況報告	同
第二日（十四日）	諮問事項（業務部主管）	同上（同上）
第三日（十五日）	諮問事項（金融部主管）	同（總務部主管）
第四日（十六日）	指示及注意事項（事業部主管）	同（金融部及總務部主管）
第五日（十七日）	總裁訓示	

而して會議時間は每日午前は十時より十二時まで午後は一時より三時迄とし其の前後の時間は各部課室に就き事務の打合を爲すものとす

◎高瀨理事歸任

豫て上京中なりし東拓理事高瀨梅吉氏は十二日夕歸任す

◎野守氏入京

目下鮮內出張中なりし農商務省書記官野守廣氏は歸途十一日夜南大門驛著汽車にて入京十二日は總督府商工課長の招待にて朝鮮ホテルに午餐を共にし同夜南大門驛發汽車にて退京す

◎全鮮穀物商大會（二）

（承前）[illegible]（以上仁川提議）

を一括して附議したるに木下（釜山）天日（京城）今井（大田）氏其他諸氏より議案の重複に對し再修正を希望し議論百出の結果發案者側に於て修正する事となり第七項は沿線側港灣側との間に輸移出稅負擔に關し激烈なる議論の交換をなしたるが結局但し書の稅關の設置無き土地より輸移出の場合の輸移出稅は此限りに非ずと修正の後約一時間半の休憩再開と共に第三項以降第八項迄の議案を左の如く修正して再議したり

一、本船乘汽車乘約定値段に依る場合
（イ）賣主の責任は荷主引替證の交付を受けたる時を以て終了する者とす
（ロ）本船又は貨車積込迄の費用は賣主の負擔とし本船仕向地解船保險料及び荷爲替日步其他本船又は貨車に積込以後費用は總て買主の負擔とす

二、本船沖著及汽車驛著約定値段に由る場合
（イ）買主の責任は本船が仕向地に入港の時又は汽車が仕向地驛に到著したる時を以て終了する者とす
（ロ）本船又は貨車積込迄の費用運送保險料並に荷爲替日步其他本船又は貨車到著迄に一切の費用は賣主の負擔とし本船又は汽車到著以後の費用は買主の負擔とす

右修正議案は字句の訂正の後修正通り決定したり時に午後五時引續き開會したるも議論沸騰して動もすれば議事の進行を阻害するが如き形勢に陷りたるを以て京城執行氏其他より折衷說出づると同時に議長の注意ありて漸く議場の泥濘を整理し得たるも多數の提案を殘し居る事とて十一日中には到底議了し得べくも非らざるを以て六時頃打切り驛樓に於て懇親の宴を開き更に十二日引續き開會の筈なりしが地方出席者よりする決定日數其他の關係上時日を遷延する事能はず出來得べくんば徹宵にても本日中に大會を終了したき旨希望ありたるを以て更らに議事を進行し對內取引に關する件中

（九項）買附注文により荷物を本船又は汽車に積入れたる通知を買方より賣方に通知したるときは其の後に於て途中事故の爲めに延著するか又は運送中相場の低落あるも買方に於て其の損害に對し辨償又は値引をなさざるものとす（釜山提議）
（十項）賣買成立後船舶及び汽車の事故延著の爲め被る損害は賣主其の責に任ぜざる事（沙里院提議）
（九の口）賣買に付買注文により買附済の通知を發したる以後の損害は賣主に於て負擔せず（水原提議）

の三項は慶山光武氏、釜山木下氏大田今井氏其他より質問あり提案者より應答あり再び議論百出したるが結局大會迄の宿題として仁川の決議に一任する事とし强いて群山穀物組合よりの參考として提出したる

（十一項）[illegible]
（一）[illegible]
（二）商業の通告を受けたるときは組合は直に之を當事者に通告し其の事由を記し事實の有無を調査し果して不德義なる行爲ありと認めたるときは之を總會に圖り取引拒絕の決議をなす
（三）總會に於て取引拒絕の決議を爲したるものに對しては組合員は一切の取引を爲すことを得ず若し本條に違背したるものは本組合を除名す
（四）取引拒絕の決議を爲したるものに對しては其氏名を當地所在の銀行に一ヶ月間掲示し且つ各地の同業者組合に通知す
（五）取引拒絕の決議をなしたるもの氏名を各種通知す

の諸項を附議したるに釜山木下氏より大會の性質上制裁法を設くる權能無し斯る制裁法を設けんとせば先づ會長其他の常設機關を完備したる後に非ざれば到底不可能なりと撤回說を主張し大田今井氏より本大會を催ふしたる趣旨は內地商人の不德行爲に對する自衞の目的を以てせられたるなり余は群山の提出案を其の儘採決するに同意せざるも群山提議の趣意には贊成すと述べ慶山光武氏より制裁法を本大會に於て決議するも全鮮各地に於て組合を組織し此れを統一する機關を設けざる以上實行は不可能なる可しと反對說ありたるも兎に角同提議は宿題として次の大會に於て協議する事とて對內取引に關する件は此れを以て終了し續いて第二鮮內取引に關する件第三斛量に關する件第四包裝に關する件第六請願に關する件等を附議し左の如く決議す

第二、鮮內取引に關する件
（一）乘値段及び著値段にて賣約定せり場合は總て內地との取引方法を適用する事（江原提案）
（二）取引上紛議を生じたる場合賣買當事者間に於て示談整はざる時は同業者の團體をして調停せしむる事（沙里院提議）（本項は對內取引にも適用する事に決し第一、對內取引に關する件中に編入）

第三、斛量に關する件
（一）穀物一叺の斛量を四斗入と爲す事（釜山提議）（次會迄宿題とす）
（二）鮮內穀物取引に就いては斛量は從送地の習慣に依る事（沙里院提議）
（三）小麥及び籾の賣買に在りては正味百斤を以て立値とする事（仁川提議）
（四）米穀檢査規則中量目制限し範圍を擴大して五斗四斗又は三斗と改むる事（仁川提議）
（五）全鮮米豆の容量を一定し總て五斗五合入とし二叺を以て一石とし受渡をなす事（江原提議）
（六）全鮮の斛廻方法及び容量を一定實施する事（鳥致院提議）（右の中四項を除く一二三五六の四項は各地組合に於て調査委員を定めて之れが研究をなし次期大會に於て決定する事とし調査委員附託同項は第六請願事項中に編入）

第四、包裝に關する件
（一）米穀檢査規則中の包裝の制限を改めて叺包裝麻及び木綿綿袋包裝に[illegible]する事（仁川提議）（第六請願事項中に編入）
（二）[illegible]上掛繩二箇所[illegible]とし横繩は一箇所毎に區切り嚴重に結ぶ事（第六請願中に編入）
（三）籾包裝の改善從來の外入を全廢し穀用叺五斗又は六斗入に統一し運搬の場合に於ける漏出を防ぎ正味賣買の利便を計る事（江原提議）（前記の如く調査委員に附託）

第六、請願に關する件
（一）從來檢査格付米即ち優等上格下格外に中格を設け等級賣買を助長する事を其筋に請願する事（江原提議）（請願委員附託）
（二）鐵道輸送を敏活ならしむる樣其の筋へ請願する事（鳥致院提議）

右の內第四の二項及び第六の二項は特別請願委員に附託し特別請願委員は仁川、京城、鳥致院、沙里院より各一名を選出の上近日中に鐵道局總督府等に請願する事とし最後に次期大會は京城に於て催ほす可く決定し午後九時全提議案を議了し閉會直ちに驛樓に於て懇親の宴を催ふし十一時頃散會したり尙各地出席者は十一日夜は仁川に一泊十二日大部分は退仁したり（仁川支局）

【仁川】▲苦力渡航增加

十一日午後四時大連芝罘發仁川に入港したる伏見丸より四百數十名の山東省苦力上陸したるが內二十三名は元山經由浦鹽に向ひ他は內外地及び遠く吉林、省琿春、北島方面に出稼ぎする者にて例年三月中旬より六月末頃迄苦力の移動增加し每航數百名の渡航者ありと

【大田】▲實業協議會

大田實業協會にては十一日午後七時より同事務所に於て協議會開催し大正六年度豫算編成の件春季店員運動會に關する件及び來る四月定時總會に關し議するところありたり

▲儒城溫泉況 大田郡儒城溫泉場に於ける一二兩月別入浴客數を聞くに一月中浴客一千八百七十三人收入五十三圓二十二錢二月中浴客一千七百零五人收入三十九圓九十二錢五厘にして昨大正五年中に於ける入浴全員數は二萬七千三百三十三人此收入六百八十六圓八十四錢五厘なり尙は昨年末より著工中なる地下百尺の湧口も既に四十尺餘に達し居り繼續進工中なれば本月中には其竣功を見るに至るべし同地溫泉土產として目下熱心に製作中なりし葛製品も愈々其販賣店を開設し販路擴張のため廉價を以て浴客に提供する由

▲儒城局成績 昨年十一月以降二月中に於ける儒城郵便所取扱成績を見るに爲替貯金受五百四十三口一萬四千四百七十八圓六十三錢五厘拂百六十二口一萬四千二百九十四圓四十錢五厘小包受九十一配二百九十七書留受一百三十八配二百六十六電話呼出四百九十七電報百五十通なり因に二月一日より公州郡炭洞面の電報配達も同所にて取扱ふことゝなりしと而して當所取扱の現區域は炭洞面鎭岑面儒城面、大田郡柳川面の一部となり居れば漸次好成績を見るに至るべし從來郵便物は配達より引受多數を示し居れり

【群山】▲學校組合

群山學校組合大正六年度歲入出豫算會議は十日午後二時群山府廳樓上に於て附議せられたり歲入出豫算原案は左の如くにして本年は小學校女學校の增築其他の爲め歲出の膨脹に伴ひ歲入の增額を計りたる結果歲入出豫算は共に大正五年度に比し一萬二千五十二圓の增加を見たる反比例に組合財產より生ずる收入及び雜收入の減少のみならず補助金の著しく減せられたる爲め自然組合費增徵の止むなきに至れりと

▲港灣調查 群山港の港灣調查は築港問題の豫備行爲として從來各方面に於て研究せられたるが未だ相當の經費を投じ實地に調查せられ具體的に成案せられたるものなく全鮮優位の米穀輸移出港として米穀取引所の緊切問題なると均しく群山の築港問題は決して忽諸に附すべき問題にあらずとなし最近群山商業會議所中心となり組織的港灣調查會の創立準備中なりしが調查會に關する具體案を頃日商業會議所商議員總會に附議せる結果全會一致を以て可決し直に會員組織として實行に著手する事に確定したりと

◎斷交案通過

支那參議院に於て

支那對獨國交斷絕案は十一日夜五時間に亘る大討論の末八十七名に對する三百三十一名の大多數を以て參議院を通過せり（北京電報）

【晉州】▲小學校長會議終了

開催中なりし小學校長會議は本日を以て終了し歸任せり▲新市場開市 久しく宿題たりし新市場移轉問題は愈々斷行され前市日より新市場にて開市せしが從來城內外に散在せる古市場も新市場に併合され結果商人も多數にて頗る盛況を極めたり市場附近地價二三圓の見當なりしに今は非常なる昂騰を演出し坪十圓にても尙手に入り難き模樣なり

人事消息

▲高橋虎太郎氏（大邱警察署長） 赴任の途次入京中の處十二日朝南大門驛發列車にて赴任
▲久門大田建設事務所長 十一日夜着任
▲眞野鎭海氏（新義州警察署長） 十四日午後九時四十分南大門驛發列車にて赴任の豫定
▲マクキン氏（東洋拓殖會社員） 十二日朝八時五十分南大門驛通過北へ
▲成域政太郎氏（大邱警察署長） 十二日朝入京
▲生田清三郎氏（總督府水產課長） 十一日夜著 由田帆の連絡船にて東上
▲安原敬太郎氏（大邱八十聯隊長） 十一日夜釜山著大池旅館へ 管內巡視の
▲山口貞昌氏（法務課長） 十日附慶北管內へ出張を命ぜらる
▲今野清氏（總督府技師）▲同今朝雄氏（土木課長） 十二日附京畿道管內へ築港工事打合の爲め十一日釜山に出張

逐鹿夜話

△憲政會の埼玉縣前代議士で今度も又た名乘りを揚げた加藤政之助君の選擧違反事件は却々以て頗る愛嬌たつぷりの振つたものだ何でも埼玉縣の鴻巢町の料理屋で三十錢會を開き六十錢程の御馳走をした外に美人の評判高い妻君が裾模樣か何かのお召をゾロリと著込んで藝妓の代りにお酌をして廻つたと云ふのが主因ださうな

△萱野長知君と云へば餘り知つた人もあるまいが滿洲から山東省へかけて萱長大人と云へば知られ支那人も知らない程の支那豪傑黎總統の革命戰時代は其の幕幃に參じて天晴れの參謀長をもやつた人で先の選擧にも鄕里土佐から出たが落選した今度は東京から出馬する筈で事務所を水天宮前に置て運動員は土佐から態々出掛けて來たが選擧人名簿を買込んで之れで井田さんは驚くと吃驚して居る萱長大人如何に馬を進めるか支那浪人連は興味を以て見て居る相な

△關直彥君は東京本所區江東俱樂部に事務所を置て大に采配を振つて居るが橫山勝太郎君が俱樂部の二階で政見發表演說をやり春りに關君を攻擊するので關派の連中切齒扼腕して二階を睨み上げて「畜生ッ覺えて居やがれ」

△何時も出ないと云ひながら飛び出す選擧間近になつてヒヨックリ飛び出す鈴木萬次郎君今度も又々東京から出るとは傳へられたが今度こそ愈々辭退する事に決した相な聲覺そうなるを議會に一光明を失ふ事になる只でさへ淋しい議政壇はアーク燈でも點けねばなるまいと餘計な心配をして居るものもあるさハーゲマン先生以て如何となすがね

麵麭が無い、薪が高い
露都は食糧品店前に人山

露都に勞働者の同盟罷工起り示威運動を行ひ暴擧を極め居り原因は食糧品の缺乏にありて、中には麵麭店の窓を破る甚しきものもありし由——とは十一日本社著の露都電報の要旨だが之れに就いて思ひ出さるゝのは數日前京城通過朝鮮の車中にて會つた前露西亜大使館附武官鈴木海軍中佐の露都の近情である、曰く

露西亜に於ける食糧品の缺乏も一般に噂される程甚だしくは無いが軍隊の給與を除いては多少不足を感じてゐるために一般人は困れる

◘節約主義 を採つてゐるやうである、露西亜のやうな農業國で日用の食糧品に困るなどは鳥渡聞くと可笑しい話だが、輸送が十分でないので市場に出す事が出來ないのである麵麭の如き日を逐うて不足を增す一方で露都の市中で賣つてる物には容易に白麵麭などを見る事は出來ない白麵麭と稱してゐるものは悉く鼠色になつたもので普通は大抵黒麵麭ばかりである、軍人に對しては政府が切符を發行して一定を限つて

◘支給して ゐるので市中の麵麭屋の前に立つ者は無いが、普通人は是まで屢々日本にも傳へられた通り、市中の麵麭屋には悉く人山を築いてゐる、それが近頃では著しくなつて何處の麵麭屋の前を通つても一丁近く列を爲して少量の麵麭を得るために犇めき合つてる悲慘と言へば悲慘である

◘勞働者等 も收入は可なり增してはゐるが一番に困つてゐるのは此の日用食料の拂底に諸物價の騰貴である、それから輸送不十分の結果されて戰場へ向つた結果である、市中の電燈も昨今では平常の半分位に減つて非常に暗くなつた、之れは別に警戒の意味では無く石炭の消費を少くするためである

直接に迷惑を蒙つたのは薪の無い事である、六つ位の部屋を有する家では一月に六百圓位は要る、戰爭以前に比べると七八倍は騰つてゐる、菓子の內、菓子は近頃全く賣る事を禁じた、恐らいふ風だから料理店でも食後の菓子は出さぬ事になり、營業時間も十一時となつた

◘馬車賃は 高くなり、電車と共にその運轉數も著しく減じた、之れは運轉手、車掌、馭者の多くが徴

◇花賣り◇○◇十二日正午大平町にて◇嬉しい春になりました

我が憲兵、馬賊を斃す
豆滿江を涉つて鮮內地に侵入す

咸北慶源郡は對岸支那領に汪淸縣なる馬賊の巢窟を控へ居りて冬期間は時々馬賊の豆滿江氷上を渡涉して鮮內地に侵入し掠奪を爲す故我官憲は

▲地方民と協力 して之が警戒に努め居れるが昨年二月頃も馬賊の一團侵入し我憲兵と交戰し賊數名を斃したる事あり故に本年も結氷期に入ると共に憲兵隊にては地方自警團と協力し沿江を警戒し居りしも絶えて其事なく何れも安堵の胸を撫で居りしが二月二十七日安農面金洞に怪しき一人の支那人徘徊したるより洞民は大に警戒し早速安寧分遣所に急報せしに分遣所にては土谷上等兵以下憲兵補助員六名同洞に出張し更に補助員二名を豆滿江中の

▲柳多島に出し 賊情を探偵せしめ居りしに三月三日夜十時頃怪しき支那人四名江を渡りて金洞方面に赴くを認め補助員は之を土谷上等兵に急報せしより一同用意して待受くる所に前方より件の支那人四名來りしより土谷憲兵は之を誰何したるに支那人は各拳銃を發射して挑戰せしより憲兵側も銃砲を以て之に應戰し交戰約五分間にて賊は一名の死者を殘し對岸に逃走したるが逃走せし中の一名も

▲確に重傷を負 ひたるものゝ如しと而して遺棄せし賊は年齡三十位の散髪せし支那人にて所持せる拳銃は精良なる露國式十連發拳銃なりしと尚ほ慶源對岸汪淸縣には近來馬賊の横行夥だしく被害頻々なるより支那の軍隊巡警は協力して大架裟なる討伐隊を出し居るも捗々しき成績なきものゝ如しと（淸津）

胸を嗅る
春風に誘れて電車で郊外へ

柔らかく温かな嬰兒の手のやうな春風が胸を嗅るやうに吹いて來る野にはもはや若草の下萌えて柳の芽は青くなつた連翹の花も少し咲き初めて小川の流は温るんで陽炎が湯氣のやうに立ち昇るもう春だほんとうの春だ皆んなの心は躍るやうに郊外へ郊外へと向いて行くので此の頃の電車はバスケットや、お重箱を提げた人達が混み合つてゆく殊に東大門線の淸凉里行き本町線の御苑行き光熙門線の獎忠壇行きなどは郊外散策の人々で毎時一杯で此の四五日以來俄に乘客增加し本町線御苑行電車の乘客は一日平均二千餘東大門外も毎日二千人以上の乘客が有るし其他新龍山行義州通麻浦線等の電車も近來日一日に乘客が增加して來るとの事である

全羅丸
引揚覺束無し

江原道靈津附近にて遭難せる全羅丸は依然悲慘なる姿を海岸に止め打寄する狂浪怒濤の爲め日一日と破損し其附屬品は云ふに及ばず船室の戸其他鐵類の如きさへ打壞はされ居る模樣なるが既に工作船第三魁丸及び技師田代氏等到著し著々救助作業に從事せるも目下の處何時引揚げ得る可きとも見當さへ附かざる狀態にて船長以下船員全部は今尚ほ同地附近に踏み止まり形勢如何を見つゝありと因に工作船第三魁丸は十日三時頃元山港に入港して解船二隻を曳船し再び現場に引返したれば右著後を俟つて更に本仕掛けの救助作業に取懸る筈なりと（元山）

後備陸軍少佐夫妻
墨染の衣を纏ふて佛蹟を巡拜す

京都に引退中の後備陸軍步兵少佐□□□次郎氏（五□）は十日の陸軍記念日を期して社會との交際を絶ち俗界を離れて夫人と共に身を墨染の法衣に裹み全國の佛蹟を巡拜する事を誓ひたりと（大阪特電）

四戸埋沒し十五名下敷となる
土砂崩壞して山陰道列車不通

十一日午後一時山陰道濱阪九谷間に於ける九谷驛を距る西三百餘間の地點約二百餘坪崩壞し列車不通となれり又九谷にては土砂崩壞の爲め人家四戸埋沒し十五名下敷となり生死不明なり（大阪特電）

漁船五隻難破して乘組漁夫
三十五名激浪中に漂ふ

江原道杆城郡新北面西湖里沖合にて二月二十七日漁船五隻難破したる椿事あり漁船は何れも十二噸乃至十五噸位の帆船にして咸南德源郡府面斗方里韓泰雲、江原道通川郡臨南面底里白龍洙、元山上里康泰俊、元山中里李榮春、慶北盈德郡東面蓉浦里金善汝の各所有船にて一隻に六名乃至八名宛乘組み鰊漁をなし二十六日前記の沖合にて投錨碇泊中同夜より颶風雪となり翌二十七日午後三時頃迄に激浪の爲め船體は岩角に觸れて難破轉覆し五隻の乘組人員三十五名は激浪中に破片に取縋りて漂流したるが急報に接したる里民は數十名救出に出動したるも風雪の爲め船を出す能はず里民の內屈強なる二名の者は繩にて胴を縛り陸上のものに操らせて激浪中に躍り込み漂流中の者を救護し僅一部のものは上陸し得たるも爲め乘組員中京畿道生の金某（二五）外一名行衞不明となりたるのみにて他は何も救助されたりしかし船體の損害は一隻六十圓乃至八十圓にて合計三百五十圓、積荷船具等七百二十三圓餘の損害を來したりと

若き妻亡夫を慕ふて自殺

高陽郡漢芝面豆毛里金宗業長男大智の妻朴氏（二〇）は大智が過般より病氣に臥床中介抱せし甲斐もなく三月五日遂に死亡したるより世を悲觀しゐたりしが七日午前三時頃無斷家出して行衞不明となりたるため家人は大に驚き八方搜索中七日午前八時頃豆毛里前の漢江の水流中に屍體となりて浮流し居るを發見し急報に接し京城府隊漢江派遣所より憲兵出張檢視せしが全く亡夫を慕ふて覺悟の自殺を遂げたるものと判明し屍體は家人へ引渡せり

漢江解氷
渡船を開始す

揚州高陽二郡に屬する漢江流域は本年は例年より著しき堅氷を以て閉されたるも容易に解氷すべしとも見えざりしが此頃の暖氣に漸く解氷し始め今や全く解氷したれば各渡船場は渡船を開始せり

外人團演藝會
切符は賣切れ

十五日午後八時朝鮮ホテルに於て開催の筈なる外人團慈善演藝會は非常なる人氣にて切符は殆ど賣切れの盛況を呈し居れば既に二圓の切符を購入したる人と雖も八時半迄に入場せざる時は著席を得ざることあるべく椅子を要せざる觀客の爲めに一圓切符の發賣あるべしといふ又前日午後四時半鍾路青年會館に於て豫行演習あり子供及び其附添人のみに入場を許す筈にて入場料五十錢なりと

英國首相の暗殺を企てた
婦人參政權論者處刑

倫敦來電＝英國首相ロイド、ジョージ氏及び軍事會議員無任所大臣ヘンダーソン氏を毒殺せんと企てたる廉を以て審問中なりしホイールドン夫人（五〇）は禁錮一年其女婿ジョージ、メーズンシヤクザイン氏（二四）は七年其妻即ちホイールドン夫人の女は五年を宣告せられホイールドン夫人の女ハリエット、ホイールドン孃（小學校敎師）は無罪放免となる此等の婦人は皆婦人參政運動者なり（倫敦電報）

五萬圓を强奪す
犯人は朝鮮に入り込める乎

十日滿鐵社員某氏は現金三萬圓及び小切手二萬圓を携帶して大連某取引銀行に赴く途中突然三十歳前後の男現はれ件の社員より該現金及び小切手を强奪して姿を晦ませり犯人は支那服を纏ひ居るも人相日本人らしく而して朝鮮に入り込める形跡あり（大連特電）

收入印紙僞造

全南羅州郡鳳凰面擧洞里徐仲鉉（四二）と云ふは大正三年末自宅にて五十錢、收入印紙百枚を僞造し近來之を慶南山淸郡廳に差出す登記書類に貼付して使用せんとせしも發覺遂に其筋に檢擧され目下取調中の所九日光州地方法院にて懲役六月に處する旨言渡しありたり

▲南山町三丁目▼ 町內のご自慢
□これはまた名物ばかり

昔は一帶の草山

南山町三丁目は總督府の眞下、千代本の裏から巴城館通りを東本願寺に登つて愛國婦人會から倭城臺坂を江川菓子屋に出る間、町としては

先づ近日何佛上人の親鈹がある東本願寺には境內の梵鐘が朝鮮で一二を爭ふ程の名物で、加藤灌覺さんの說によると鐘は新羅末期に鑄造されたものゝまた音色は何んとも云へぬ優しい流れさうな音、日本で有名な安藝の宮島の鐘、宇佐八幡の鐘、播磨の尚砂の鐘などはみな朝鮮から渡つたものなれども

◆本願寺の鐘に較べると 見劣りすれども鐘は もと京畿道砥平郡今の楊平郡の龍門山上院寺（漢江上流十三里）にあつた

南山町三丁目總代 中原鐵臣君

もの樣式文樣は唐に倣つたから朝鮮と支那式の合の子である……』と、鐘に就いては數々御座れど次は能書家でなしは隣りのラヂウム井戸もなか〳〵の名物、海軍武官釜谷少將の邸から米穀兵子のお邸、次ぎは南山消防組（電話十二番）の

此所ばかり三丁目についた上寺內督の御用を承つてこれも評判、菓子屋の江川さんは昨年まで町總代をつとめ京城二百餘の菓子屋さん中第一番目の營業鑑札を有つた店舗で一軒から三軒までは皆んな廢業して今では京城唯一の菓子屋の元老で此所に開店當時は此所が本町通りよりも賑やかで

(今は無し）といふのがあつて釘本さんもすぐ前に居たそして倭城臺本願寺のあたりが一帶の草山で、よく蕨や熊の見世物などが時々來た……このはなし、總代さんは城ホテルの中原鐵臣さんで殆んど町の五分の一を占むる程の廣大な構へ、中原から大阪屋の洋館は大隈閣は以前京城日本人クラブの跡で四十年には一度火災で類燒の災にあつた

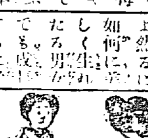
◆しかし其の後隣の廣閣は

景福宮の會賢亭をそのまゝ此所に移し建てたもの庭は南山の山つゞきで頬の白い小鳥や鶺鴒の紅い小鳥が植込みで囀る、主人はお自慢の盆栽をひねくりながら『お客さんの代りに御覽の通り小鳥のお客さんが深山で毎日うちの七面鳥や洋犬などと日向で遊びます』といふ、打仰ぐ空には本願寺の屋根が見られる、總督府が見られる、春の麗日は勿體ないほど庭にさしこむ、序に此所では大神宮さんの御近所でもあるからうかいつもお芽出度い結婚披露が催される、

演藝案內

大正館 電話八七三

黃金館 電話二六三七



色の黒い人はない筈

色の黒いのは生來で、どうする事も出來んと云ふ人は時勢後れである、なせなれば何處の小供も皆色の白きを見られよ然るに如何に美しく生れたる男女も成長するに從ひ色黒くニキビ、ソバカス等の天性の美を損ふは毒素の作用によるのである乳白學說により本所が責任を以て調劑せる內服藥を服用せられよ申込次第說明書無代進呈

東京市麻布區箪笥町四番地 三協製藥所

長崎縣人に謹告

在京城長崎縣人春季大會開催致し縣人の親睦的組織を圖らんとす奮つて多數御出席を乞ふ

日時 來る十七日（土曜日）午後四時
會場 本町花月
會費 金二圓當日必御持參の事
申込所
準備の都合有之候に付十六日正午迄に御申越被下度候

長崎縣人會

朝鮮鑛業要覽 定價一部一圓廿錢
附圖 朝鮮地質鑛產圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

夏向用品新荷著
絹綿 洋傘
各種帽子
メリヤス類一式
文房具一式
各種雜貨
右新荷著仕り候に付精々廉價勉強可仕候條多少に不拘御用命の程願上候
各種雜貨卸商
京城南大門通一丁目
瀬戸勝兵衛商店
電話二一七番 振替二四〇一番

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液
どんな酒煙草のみでも苦なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舗 大阪西區靱南通二 森田商店

開業廣告

私儀從來調理士に付永年研究仕候處今般同業者及當地知名各位の御勸により來る十五日より左記へ開業仕候間御試食の上永久御愛顧の程願上候

仁川仲町券番前
みなと主人別莊
電話は（□□）

分店開業

今般業務上從來の店舖にては狹隘を告げ諸事御不便相掛候に付左の所へ分店致し專ら有價證券及石粉菜製賣買等相營み申候間何卒倍舊の御引立に預り度御願申上候 洋服部は當分の通り本町二丁目に於て營業仕候

分店 京城南大門通二丁目（漢銀前）
電話長九九三番 振替一五二五番
田中友吉商店

競賣廣告

本月二十日午後三時より本商店前に於て故□□氏所有の南大門外蓮花峰所在家屋及其敷地共六千三百卅坪を競賣に付候間御來場の上御買上の程奉懇願候

大正六年三月
京城太平町一丁目 加北老商店敬白

龍山陸軍官舍合宿所の出火
白晝のことゝて直ちに軍隊にて消止
原因は小兒が弄火したるものなりと
さくら丸一二等客
課題及募集規定
募集規程

…合宿所便所附近より出火したるも本館より離所へ後館の廊下板塀少許を燒失したるのみにて…

三月十一日午後九時三十分釜山入港

◇日本の婦人は笑ふのが下手だ
何うすれば笑ひの趣味が解るか

総じて日本人は男も女も「笑ひの趣味」を解して居ない。男が餘り

■笑ふのは　見よくない點もあるが女の餘り笑はぬのは、餘り褒めた事でない。女丈けの處でなら姦と云ふ字をかしましと讀む樣にしてある位。

■矢釜しく　騒々しく、夫れに伴うて笑ひくづれもするが、男の前に出るとムッチリしてはなる可く笑はぬ樣に僞善を装ふ癖がある

■女の笑ふ　のは愛嬌になつて、いかにも女らしい氣分がする。女は家庭の中心で平和の中心であらねばならぬ。平和の中心であるなら

■愛嬌が無　くてはならぬ。愛嬌が有れば、從つて笑ふ事も多くなる。女は怎うしても其僞善を捨て、心から笑ひの情調を臆得すべきである、西洋人は

■男でも女　でも能く笑ふ國民である。鹿爪らしい政治家でも奇知頓才に富んで居て、演説などする時でも人を飽かせぬ樣に

■常に輕い　ユーモアを忘れぬ。其位だから女など愛嬌に富み、笑ふ時など無邪氣に笑ふ日本の政治家など中々能く喋る者も居るが

■唯無闇に　喋るのみで、ユーモアの氣分が無いから、聞く者は直ぐ飽いてしまう。日本の女も其通り、中々饒舌であるけれども、愛嬌が無い

■當意即妙　と云ふ樣な事を解せぬ。だから家内も從つてムッチリして何となく角立たしい感じが多い。其處に行くと

■西洋人は　馴れたもので、少しも人を反らさぬ。夫れ丈け日本の家庭は不幸である日本の女に笑ひの氣分の少ないのは

■孔孟の教　が因をなし、佛教の厭世觀が因を爲して居るであらうが、笑ふたりなどすると如何にも其の女が

■輕々しい　者の樣に見らるゝのを恥ぢ、つひ可笑しくても笑はず、愛嬌もいゝかげんにすると云ふ風になるのだらうと思ふ。其れが

■後天的に　習慣となり、つひに今日の樣に不愛嬌千萬な女で充たされる事になつたのだ。けれども之れから後の女は、さう云ふ僞善的ではいけない

■無邪氣を　装うて却つて邪氣に見ねる樣な下手な女では、之れからの世渡りには向かない。要するに完全に教育されたなら

■自ら品位　も出來笑うても下品でなくなるから、遠慮なく笑はれる樣になるが、教育が無いなら、つまらぬ事に無闇に笑ひ

■笑ふ可き　に却つて其笑ふ程の感興を催さない、さう云ふ事を怖れ且つ恥ぢ、終に人の前では僞善的になるのも一の原因であらうまた

■日本の女　は從來餘り社交的でない。從つて外交的でない。笑ふ必要も少なかつた。其證據には社交的になり掛けた都會の婦人とさうでない

■田舎の女　とは其の愛嬌に大差がある、同じ田舎の女でも女學校などに行つて居る者と、さうでないものとの間にも大差がある、一般に婦人が

■職業的こ　なり家庭外に多くの時間を費す樣にすればなる程、從來の樣に無愛嬌で、笑ひを僞る樣な事では濟まなくなる、夫れでは膨服的

■日本國民　の半身としての資格が無いのであるから、今後は大に笑ふ事を重んじて貰ひたいと思ふのである。(某教育家談)

讀者文藝 (一等には五十錢分の賞品を呈す)

▲川柳『手』

○手前味噌詣判程の味もなし(一等)　京城　初芽

▲せり賣りはさし安さうに手を叩き　龍山　岡本小草子

▲死石を生かして下手は敗となり　京城　水巫

▲綿鳥は手細の糸で拘にし　京城　世之助

▲手の振りで家が起きたり亡んだり　相良　臨井佐

▲催促の角はもみ手で丸み付け　京城　朝霞坊

▲ゆだんすぎつい飼犬に手をかまれ　京城　二葉

◆七十二年の間寢て暮した英國婦人

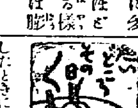
◆近著の倫敦タイムスに、全く小説にでもあるやうなこんな記事が載つて居る英國東海岸スカーバロと云ふ所で二十一歳の時から七十二年の長い年月の間床に就いた儘日を送り、本年九十四歳の高齢に達して死んだ老嬢がある。◆此女は青春二十一の歳に或男と婚約したけれども、その父なる人がどうしても同意して呉れなかつた。それで彼女は失望の餘り床に就いたが、それきり床を離れることが出來なかつた。◆彼女は最初住まつてゐたケンブリッヂからスカーバロに移るときに只一度廻きたことがある丈である。彼女は死ぬる迄別段身體に之ぞと云ふ申分は無かつた又何等運動をしないにも拘はらず食物は何時もうまさうに食つて居つた。◆しかも全くむすめらしい樣子をして居たが、僅か二日間の病氣で死んでしまつた。彼女は世間の出來事には何でも興味を持つて居つたが、特に此度の歐洲戰爭には多大の注意を拂つて居つたと云ふことである。

平壤の老樹調べ

平壤は古い都であるから古い名所もある、隨つて古木神木等も澤山殘つて居るだらうと思はれるが案外に尠い、殊に神木と稱して迷信家の崇拜する樣なものは一本もない、平壤府が此程調べたところに依ると平壤府一圓で樹齢六十歳以上のものが五十四本ある而して百歳以上のものを擧げると第一番の老樹は二百歳の欅これは將別里女子高等普通學校内にある次は同校内に百八十歳の欅が四本其次は朝鮮銀行支店内の槐樹百六十歳其次は物產陳列場の百五十歳の槐樹其の次は上需里桑園内、大同郡廳に倉田里の路傍の三箇所にある百三十歳の槐樹である其頃は女子高等普通學校内と物產陳列場内にある百廿歳の白楊、其次は萬壽臺記念碑横の槐樹百十歳、其次は鍛冶里宮川五郎三郎方附近の槐樹百十歳、其次は上需里測候所内の楊白歳、此他に港町江岸に百歳を經たる楊が四本あるばかりである(平壤)

實修蠶絲學舍の設立

京城三角町九十一番地(朝鮮生絲株式會社內)に設立せられたる同學舍は今回規約を改め新入女生徒を募集する由なり同校は女子に必須なる智識技能を授け婦德を涵養するを目的とし裁縫を主とし他の手藝を授け茶道挿花等も教授する由舍主は松本正監松本雅太郎兩氏幹事には橋本、竹內兩氏之に當り講師として阿部十家、山際五十雄、山口太兵衛、古城管堂、坂田曉海、丹羽清次郎、渡邊暢、高橋龍惠、竹田ゆり、山路武之助等の諸氏之に參與し校地は三百有坪校舍三棟あり教授は二十餘年間內地高等女學校に教鞭を取りたる經驗ある女教師を主任とし他に相當の教師あり遠隔地よりの遊學生に對しては特に寄宿舍を設け親切に監督し最も便利を計り居れりと



▲漬菜の仕方　漬菜をよく洗つて根を切り株のところへ縱に庖丁目を入れて漬けますかうしておくと鹽氣がよくしみるのといま一つには取出したときに幾つもに細かに分けられるからであります鹽加減は桶の大小と菜の多少によつてちがひますが一斗樽一杯なら鹽五六合の鹽が適當です最初に壓石を重くしておきます水があがればたべられます水があがつてから壓石を重くしておくと菜が硬くなり色も悪くなります

商況

債劵現物特電
東京(十二日出來値)

銘柄	値
東洋拓殖	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
朝鮮銀行	一七六、〇〇
朝鮮殖銀	一一九、〇〇
南滿鐵道	一三八、五〇

公債直取引電
東京(十二日出來値)

銘柄	値
五分利特別	九五、二〇
五分四分津發	八二、二〇
一回四分	八一、二〇
二回四分	[illegible]
甲號五分	九五、一〇

深川在米特電
十二日現在高

品目	高
鮮米	二四八、〇五八
內地米	一九三、八〇六
臺灣米	一六一、四六三

東京期米特電
十二日前場

	五月限
寄付	一六、七〇
高値	一六、四六
安値	一六、七〇
止め	一六、〇九

大阪株式

銘柄	掛込	十日前場	十日後場
宇治川水	五〇	[illegible]	—
神戸電鐵	五〇	[illegible]	—
京阪電鐵	五〇	[illegible]	—
和歌山電	五〇	[illegible]	—
合同紡績	五〇	[illegible]	—
鐘淵紡績	五〇	[illegible]	—
同上新株	五〇	[illegible]	—
東洋精糖	五〇	[illegible]	—
大阪商船	五〇	[illegible]	—
日本郵船	五〇	[illegible]	—
大阪株穀	五〇	[illegible]	—
東京株式	五〇	[illegible]	—
大阪新株	五〇	[illegible]	—

大阪期米特電

十二日前場	
高限寄付	一五、五一
中限寄付	一五、七四
先限寄付	一六、〇一
	め止

下關期米特電

十二日前場	當限	中限	先限
寄付	一四四	一五二	一五三
高値	一四四	一五二	一五三
止め	一四八	一五二	一五三

雜報

●漢江解氷出穀　漢江は漸次に解氷し麻浦西江方面の出穀は昨年よりも早く...

故に大豆は產地高　...

●牛皮底強し　朝鮮牛皮は既報の如く...現品の手當難より相場は底強く...

大阪は睨合の状態にて...

●移出途切れ　...依然割高...

●金物材後報　(十日大阪より)...平板及鑄物類に...

樺太及臺灣より大口の注文入込み花形銘柄に三十番物は...

各票十錢方の値上りと各品約五分方の昂騰

各票は鉄物類は銑鐵の影響を受け各品約五分方の昂騰を見るに至り其他洋釘は...安田岸本兩製鐵の協定値上を見しより細物荒物を通じ一躍五十錢方値上げを見せりといふ

●海苔出廻る　內外各地とも海苔は概して不作なるに拘はらず其後の狀況によれば新物弗々の荷動きを見る...全羅沿岸は...全然不作...北は相應の收穫...淺草海苔は...約一割位の格落ち品質著しく劣り...

●金巾細物強硬　金巾細物は...内地市況は...鮮內取引...賣集めマバラ...徐々引締め模樣

●硝子又復騰貴　秋以來保合なりし...一割の新高値...

●硝子屑の買入　...

●罐詰類の卸値　...混亂高下保合...

●蜜臘は不味　...

南大門の廻穀

西井里	二三九叺
平壤玄米	一三五叺
平壤玄米	一四九叺
平壤玄米	四七叺
平壤白米	一五九叺
水原白米	一〇一七叺
水原大麥	一八叺

仁川市現物場

▲籾入津昨今五六百俵
▲正米入津なし
▲大豆入津少なし

穀物市場(十一日)

▲正米(十錢高)　...

生魚市場

□日の丸市場　...

□釜山水產市場(十一日)　...

仁川期米

▲十二日前場　大阪天候曇天前寄十六圓〇一錢こ一昨止より七錢高の入

確實(定期米取引所仲買人)　マ　廣瀬商店　迅速

電二節六圓丁度の移十錢...大阪四節〇七錢五節〇八錢と高移

▲十二日前場　...

市場零聞

頭重く伸腦む　...

見送りに高値は硬軍の前場の手振　...

▲平能く賣る　...

仁川米豆取引所

十二日の五月限

前場	値	平均値段	
寄付	十三圓五十四錢	一節	十三圓五十一錢
高値	十三圓五十三錢	二節	十三圓五十一錢
安値	十三圓五十四錢	三節	十三圓五十二錢
止め	十三圓五十四錢	四節	十三圓五十一錢
出來高	[illegible]	五節	十三圓五十一錢

賣買取組高　三月限　二萬八千三百五十石　四月限　二萬五千九百五十石　五月限　八千二百五十石

青物だより

...

▲今能く賣る　▲能く賣る　▲能く買ふ　▲能く買ふ　▲下の商內　▲今の商內　...

此處一呼吸乎五十餘丁の立直

期米目先觀　...當中限の解合　人氣は是が成行き重將に第一期戰に推移

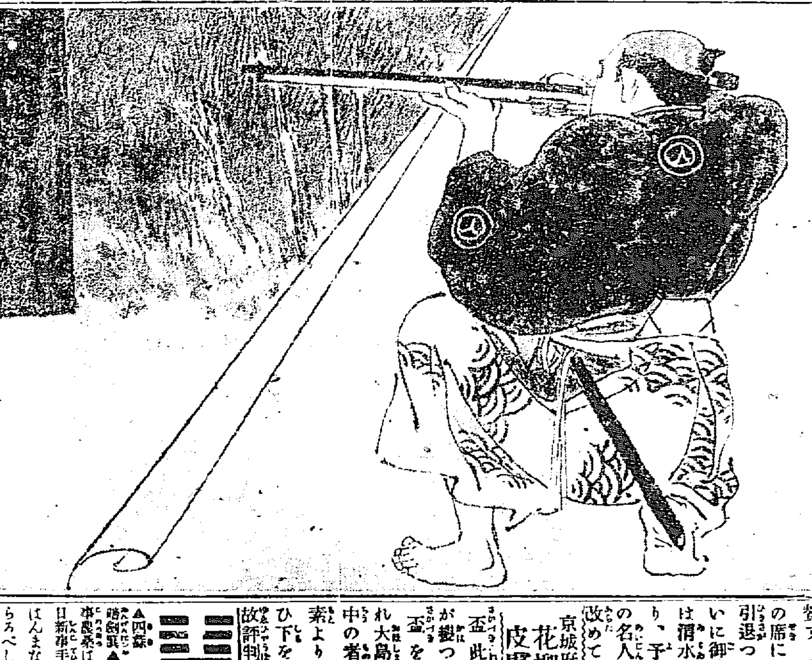
相場の一呼吸　...

明君道中記

第八十四席　田邊南龍口演

大島新之助は諸方を廻つて遂に熊本の城下に參り旅籠屋に滯在致すと早くも此事が城內に知れた、すると此の事を家臣が忠廣侯へ申し上げたものと見えて、早々お召抱の爲とて係りの者が參りました、新之助は吉川家は六萬石の小身大名故仕へる心底は無いが加藤家は七十餘萬石の九州の大諸侯、此の君ならば仕へても差支ないと思ひました故御受けをいたしました、乃で申し立の武藝は神蔭流の砲術であるが、我家は素より大

術の現妙を見せくれい」新「不肯ながら幼年の折より學びました大島流の砲術の一と手算覧に入れまする」と御受けをいたした儘庭前へ立出ました、係りの者を呼んで十匁筒を借受け充分に彈丸込をいたし猶又的として厚板一枚を取寄せ中央に黑く星を附けて裏を反して何やら認めた樣子其の板を百間先へ立させまして右の星を射貫うといふのであるから、忠廣侯を始め家臣の面々に至るまでコ



島流の砲術家故寧ろ是は砲術を申し立てやうと思ひまして斯く申し入れると、忠廣侯も殊の外のお喜び忠「砲術家とあれば猶喜ばしい、早速彼の者を召出せ」と云ふ御沙汰である、によつて係り役人此の事を新之助に申し聞け早速城內へ同道いたしました、忠廣侯のお目通りを仰付られ新之助御前へ出て平伏をする、正面には忠廣侯御著座左右には加藤家名代の重臣飯林隼人、森本儀太夫、加藤清兵衛、同傳藏、舶平次、坂川忠兵衞抔といふ戰場生殘りの武士が控へて居りまする、忠廣侯御覧なされ忠「コリヤ其方は大島新之助と申すか、予は忠廣である見知り置くぞ」新「ハッ」忠「是まで其方砲術を以て諸國を遍歷いたした由、予が目通りに於て砲

ハ如何あらんと堅唾を嚥で見て居ります、其內に新之助は右の十匁筒を取直して身構へました、充分に狙を付けて居りましたがドーンと一發放した彈丸は狙が違つたか星に中らずして左の方一寸ばかり距れた處を射貫きました故滿座の人々是を見て〇『偖は新之助射損じたな、是が申し立だといふが此の技術では大概知れたものだ』とクスクス笑つて居ります、新之助は少しも臆する色無く又復彈丸込をいたし二度目に彼の星を狙ひドンと放した彈丸、又々狙つた星に中らず星より一寸ばかり下の處を射貫きましたから人々は堪り兼て一ワッと笑ひ手を拍いて囃し立る傍に見て居つたる推擧いたした者も二度ならず二度までも爲損じて見れば

最早當家では抱へまい、皆な氣の毒なことだと思つて下差俯向いて居る此時新之助は小役人に對ひ　新「御手數でござるが彼の的を此處へお持ち下さい」と其處へ持つて參つたを新之助は板の裏を反して椽側の處へ据わましたから、人々は是を見て何が認めてあるのかと思ひ、それを見ると甲は星より左りへ一寸、乙は星より下へ一寸、と認めてあつたから人々は感心をいたし成程申し立の如く砲術では當代の名人であらうと賞めて贊す、嘲り笑つた者は赤面をして其の席には居られませんからコソコソ引退つてしまひました、忠廣侯は大いに御感心を遊ばして忠「周の文王は渭水に釣を催ふして太公望を得たり、予は今日新之助と申す砲術奇代の名人を得たり」同じく新之助を改めて大覺といたせ」主從の固めの盃「此を取らせるであらう」と御席が變つて御酒宴を催ふされ、大覺へ盃を下される、茲で五百石を下され大島流の砲術指南番といふので家中の者に教授をいたし居りまする、素より怜悧の大覺であるから上を敬ひ下を憐んで親切に教授いたします故評判は増々宜しうございました。

三月十四日九星　舊二月廿一日乙卯　本命四緑　四緑建除滿

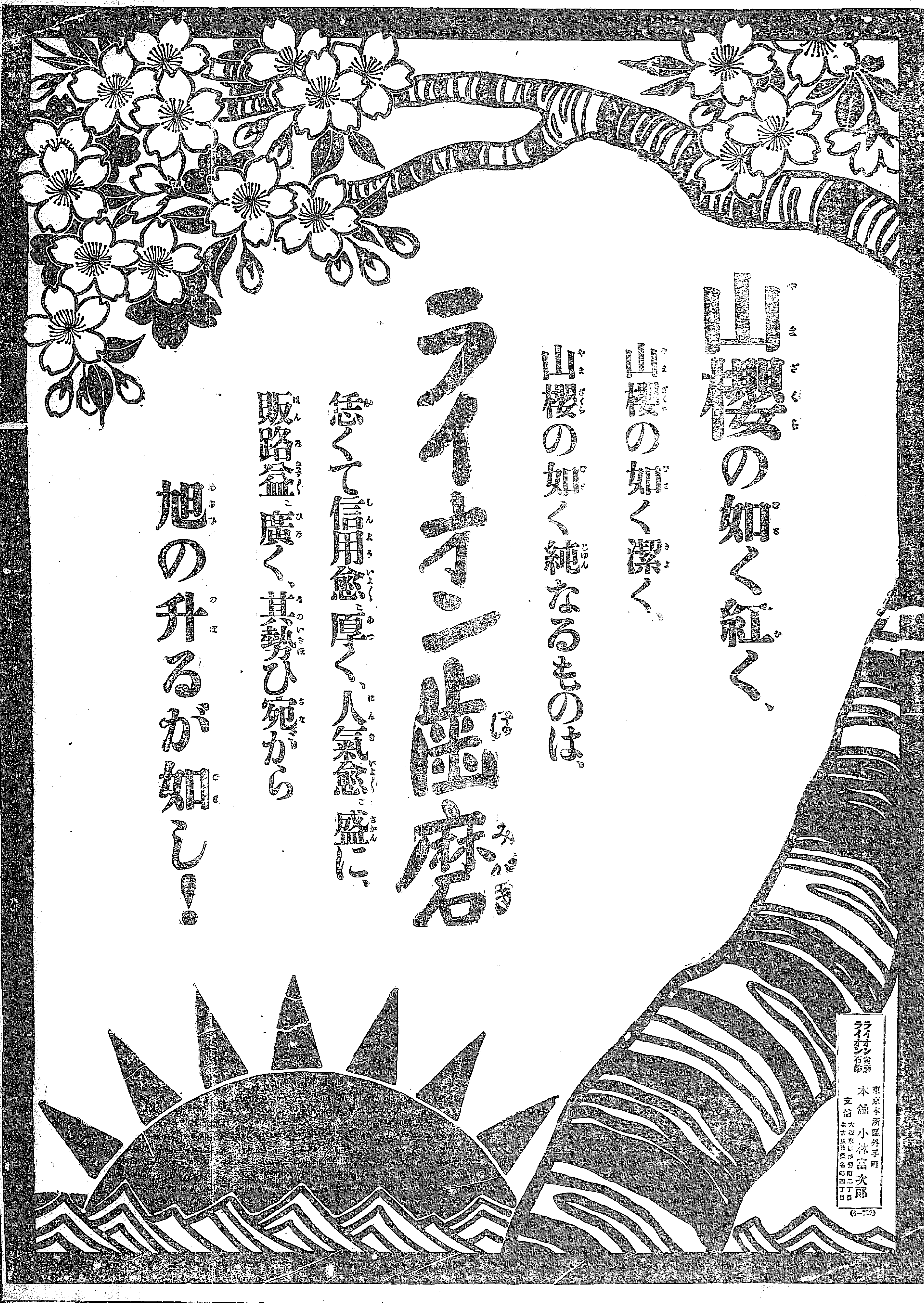
▲四綠 ...▲五黄 ...▲六白 ...▲七赤 ...▲八白 ...▲九紫 ...▲一白 ...▲二黑 ...▲三碧 ...

院長　醫學士　森定吉
內科　小兒科
京城本町三丁目瓦斯會社向側　芙蓉醫院　電話二六二三番

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城府永樂町一(商品陳列館通坂上)　電話二一〇二番

期米　富とよみ　週報・商報・進呈　大阪堂島米穀取引所仲買人　丸山亮平商店　電北　一〇一四　一〇〇五　一〇一六

●全く防腐劑の入らない　日本醇良酒　御小賣　廉價　京城新町　田中酒造場　電話九一四


山櫻の如く紅く、
山櫻の如く潔く、
山櫻の如く純なるものは、
ライオン齒磨
佳くて信用愈厚く、人氣愈盛に、
販路益廣く、其勢ひ宛から
旭の升るが如し！
ライオン齒磨
ライオン石鹸
東京本所區外手町
本舗 小林富次郎
支舗 大阪東區備後町二丁目
名古屋市西區名町四丁目
(6—702)

京城日報

第三版
三月十三日（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社

京城日報　日本の武士道

蕞爾たる極東の島帝國が、武威赫々威嚴隆々乎として、今や全世界をして、其の一顰一笑だに、注意を惹らしめ、暗然殘霧中の巨擘を以て目され、歐洲大戰に關しても、島帝國の寸動が、如何に多大なる、影響を波及しつゝあるかは、之れ島帝國が、全世界の雄なる事を證して、餘りありと、云はざるべからざる也。其の依て來る處は、何ぞや。世人或は云はん、之れ國民上下が時勢の風潮を看取し、内治に外交に其の最も宜敷を得たるにありと。或は然らん、然れども吾人は、未だ之れのみを以て、此の答案に、滿足するものに非ざる也。然らば、何を以てせんとするか。吾人の見る處に於ては、或る程度の隆盛は、之れに據るべしと雖も、島帝國の隆盛は、又た他に、其の因の存せずんば非ざる也。即ち之を、一言にして盡せば、天皇を中心とせる、一致に在り、島帝國に於て、始めて是を觀るのみ。然り而して、此の天皇中心主義は、乃ち大和魂と、武士道の上に樹立せらる。嗚呼武士道なる哉、大和魂なる哉。

頃日佛蘭西アルメール、メーボン氏、特に日本の武士道に感動し、一書を著して曰く。列國協商各國は、精神上並に死活上の、相互的援助の必要は、其盟約諸國に依りて、益々強烈に感じ、而も此間、今や日本は、其地理的關係より、犧牲の負擔を充分に、荷ひ得ざるを苦痛とするに到れり。此の國民の、高尙なる感情は、某實業家の、嘆美すべき『日本は戰爭を以て對岸の火災視するを得ず』の言辭に依りて、言明さるゝに到り、且又某有力なる博士も『吾人が我聯合國に與ふる助力の未だ充分ならざるを信ず』との、記述に依りて知る事を得たり。之を以て日本上流社會の意見なりとすれば、日本國民も亦、之に同意を、表せるものと謂ふべし。即ち我聯合諸國に對して、精神上及び、物質上の助力に依りて、日本の友情を、表明せんと試みたる高尙なる企圖は、日本國國の上下を通じて、贊襄の意を示し、政治家政府亦、其の所見を同じうするを得たり。惟ふに日本武士道の麗しき精神は、文明の兵、算を亂して斃れつゝある、碧血淋漓の戰場に、充滿するに至らん。我等佛國戰線の將卒は、其の軍人としての、最も眞摯にして、熱烈なる感謝を、日本に向つて、捧ぐるに、躊躇せざるべしと。

佛國の智識階級を代表する、アルメール、メーボン氏の語は、是れ即ち、佛蘭西國の、輿論なりと云ふべく、佛蘭西國の輿論は、軈て是れ、交戰各聯合國の、輿論なりと云はざるべからざる也。如何に極東に於ける、島帝國が、世界の視聽を鍾め、而して世界文明の建設に、大なる地位を有しつゝあるかを知るに足るべし。嗚呼武士道なる哉。

歐洲戰亂勃發後に於ける、日本武士道は、獨り歐洲人士の、腦裏を强く刺戟せしのみならず、米國に於ても亦、盛に鼓吹せられつゝあるは、事實にして、昔日日本來遊の米人等は、或は日光に、又は函嶺に、唯其の風光を嘆美し、觀光を專にせるも、近時其の風潮は、漸減し、彼等は日本の歴史、或は武士傳を愛讀して、親しく之れが、實跡を探究し、之れを調査し、其の武士道的行動を、味はんとする者多く、特に日光、日露兩役戰利品等を、一見せん目的にて來る者も多しと、或者は、泉岳寺に詣で、赤穗義士の壯烈と、義俠を聞き、驚異して曰く、若し米國にして此の十分の一の誠意あらんか、獨逸に對して一擊の加へられしや、疑を容れずと、慨嘆せし者もありたりと。今や武士道は、斯の如くにして、歐米各國に於ても、國家生存上に於ける、缺くべからざるの要素、否、一國存在の基礎として、認知せられ、日本武士道は、遂に世界の模範となり、島帝國の大勢力となり、帝國の盛威を輝すに至りぬ。嗚呼武士道なる哉。

日本武士道が、斯く島帝國の、一大勢力となりつゝあるに拘らず、飜つて日本國内を見れば、悲むべし今や、世態の風潮は滔々として、淺薄輕佻に化し去らんとし、上流家庭の紊亂、節操なき政治家の跳梁、片々才者の横行等、世道人心を害する事の何ぞ多き、洵に無量の、慨慷なき能はざる也。之れを謹み、是を戒むるは個人にあり。未だ幸にして、我植民地に於ては、多く此種風潮の、浸害を見ざるも、此の間に於て、吾人は吾人の天職の爲、大に戒心を要すべき也。之れ即ち吾人が、邦家に對する、奉公の第一義たれば也。事新しきに非ずと雖も、敢て擧げて、湖江諸君と共に大に戒めんとす。

東部 内蒙古鑛產（十一）

（二）△金鑛

▽楊家灣子金鑛　建平縣に屬し建平の東北百五十支里（東道）朝陽の正北百五十支里（北道）金廠溝梁の北二十支里に位し片麻岩より成り窄きは一二尺槪して寛部は品位惡しく鑛石百斤より僅に二三分の收金ありしも窄部は品位良好にして百斤の鑛石より十兩乃至二十兩の收金を見る[illegible]と斷層に遭遇し且つ出水多きと資金缺乏の爲め休止するに至れるも現在猶ほ其の權利を保有し居れり本金山の鑛石は分析の結果は良好ならざるも土人の言に據れば鑛石良好なるが如し又脈幅比較的大にして而も鑛脈多きを以て水準以下の殘鑛量少なからざるべし要するに本金山は西山東山共に採鑛の價値

鑛脈は片麻岩を貫く『ベグマタイト』に伴ふ石英脈にして四條あり其含金量は第三條脈捨石中の者金百萬分の六、八〇銀十萬分の二、〇八、第一條脈黃鐵鑛を含む者百萬分の五、〇〇銀十萬分の六、三〇を最多とし第三條脈舊坑の者金百萬分の一〇〇銀十萬分の一、〇〇を最少とす尙西山の西麓を圍繞せる小溝中には砂金を產す目下土人專ら其採集に從事せり而して地表下二三尺乃至數尺を掘下ろす時は含金砂層に達す本金山は咸豐初年土人等發掘し出金甚だ多かりしも出水多き爲め遂に休止するに至れり其後光緒初年李、陳兩人協力し一千餘人を使役して數年間稼行せるも亦出水と斷層とに會して休止せり宣統三年正月張錫三氏は第一條脈舊坑の泥土を掘り坑口より百八十尺にして底盤に達し幅二三尺の鑛脈を見出し更に側掘すること四百餘尺に達せり鑛脈は寛きは六七尺ある可く第一條脈附近は同一の走向傾斜を有する數條の『ベグマタイト』岩脈あり是等の岩脈に含金石英脈を伴ふもの有るやも測り難ければ宜しく山麓より第一條脈に迫ひ排水坑を開鑿し以て殘留せる鑛石を採掘し同時に左右に錐入坑を穿ちて探鑛せんには或は好結果を得んか

十三日朝通過の遣日特使汪大燮氏

支那關稅改正問題（中）

商務代理 ブレドン氏の意見

○支那政府、增率に對する反對給付として釐金稅廢止を慫慂しマッケー條約を是認し之に必要可能なる改正を加ふるの意ある如きも支那の財政狀態は克く釐金を廢止し得るかは疑問なり又支那は實際上平均三分五厘の從價稅により一分五厘の輸入稅收入を失ひつゝあるも此損失額は全然不正に歸したるものなりとは云ふを得ず何となれば陸路貿易にありては法律上五分以下の稅率が行はれ居ればなり即ち露領西伯利亞、佛領東京、英領緬甸、日本領朝鮮間の國境貿易の場合に於ては輸入に對して三割、輸出に對して四割減稅せられ尙國境に於ける徵稅は千八百五十七年の稅則に依りて千九百一年の改正稅則に據らざればなり支那が此國境貿易に於て損失する處の如何に大なるかに就き左に聊か說明する所あるべし

○北境に於ける三姓、滿洲里、哈爾賓、綏芬河、琿春及び龍井村等の北境諸商埠に於ける輸入貿易品の總額は千九百十二年の一箇年に於て二千八十二萬七千六百七十七兩（海關兩）にして一億一を控除し之に對する五分の課稅額は百四萬一千三百八十三兩より其三割卅四萬七千百廿七兩を控除したる殘額六十九萬四千二百五十六兩なるも實際支那の收入したる所は三十九萬七千八百三十二兩なれば支那の損失は正に二十九萬六千四百二十四兩となる次に龍州、蒙自、思茅等に於ける東京間貿易に於ては其總額八百一萬七千九百五十兩にして其五分は四十九萬九十七兩其三割は十二萬二百六十九兩なるが故に支那が正當に收入し得べき額は二十八萬六百三十八兩なるに實際に於て支那の收入せる關稅は十七萬七百五兩なりしを以て十萬九千九百三十三兩の損失を受けたるなり最後に緬甸該境の騰越に於ける貿易の輸入金額は百八十二萬四千九百三兩にして其五分は九萬一千二百四十兩にして其三割は二萬七千三百七十二兩なれば支那は輸入稅總額六萬三千八百六十三兩を收め得べき筈なるにその實際上收入したるは二萬六千四十兩にして支那の損失は三萬七千八百二十八兩となれり

○事情上述の如くなるが故に支那が北境貿易に於て減稅の爲めに受けたる損失は三十四萬七千百二十七兩、東京貿易に於て受けたる損失は十二萬二百六十九兩、緬甸貿易に於て受けたる損失は二萬七千三百七十二兩、計四十九萬四千七百六十八兩、にして稅則不備の爲めに受けたる損失は北境に於て二十九萬六千四百二十四兩、東京に於て十萬九千九百三十三兩、緬甸に於て三萬七千八百二十八兩、計四十四萬四千八百八十五兩、總計九十三萬八千九百九十三兩の損失を甘受しつゝある譯也諸表より同年の沿岸貿易に於て受けたる損失は五百八十七萬五千百四十一兩にして國境貿易に比し約六倍の損失たるも一方に於ては之を忍ぶも大なる沿岸貿易の損失を避けんとするは當然なるにあらずや然り而して稅則の改正に當り論議すべき問題は國境貿易に於ける減稅問題なり而も此減稅の理由は何處に在りや卑見によれば陸路貿易稅則に於て確立せられしものなるが縱し其際には如何なる理由ありたるにもせよ之を以て今日にも適用せんことは聊か時勢を無視せるものと云ふべし

日報詩壇

○送選官某東歸　藤蔭　藤蔭
十歳苦心留鴻爪、功成名遂賦歸耕、愚君欲問故山友、說盡朝鮮教育情。
評日　詞短思長

○寄中邨井　黑柳　靜州
出門無復傍塵間、一張桐殿上花光、庭前一張疎影下、苔花誰手寫桔梗。
評日　結得太奇

○春曉　望月　桂軒
凍雲遥拂曉風寒、燈照夢一寒夢遥、起疑我眼乾坤忽化水晶宮。
評日　自然成趣

○寒夜不眠　西田　白陰
霜氣稜稜透枕衾、寒風不寐夜方深、窓間看擔殘月影、照吟魂物外心。
評日　清朝無俗氣

日報歌壇

匝　佐々木柚子
カサンナの女神の如き春は來ぬ春れ悲しみに傷いける胸に
白芥子の花に似て淋しけれ人に隱れて行きゆく春が見
面にもゆる心抱きてそむき行く旅と知りたる今日の悲しみ

回　鈴木古都子
人なみておごろく猫はふりかへりく行く春の夕ぐれ
河添ひのうすら灯ともる古道具屋の金具のひかる春さめの夜
われもなく君もなかりし前の世に歸れる如し春さめの宵
いさぎよくいざこの古沼に投げ捨てむあまりわが身にすぎし願ぞ
百千鳥空にうたへば支那人の店のひばりもかなしげに鳴く
丹の籠の雲雀うたへば支那人もなにか無邪氣に頰ひて有りぬ

春寒（五の日十の日合吟）

○春寒み燕鍬傷なきはなく　浮碧樓
○餘寒の町角曲りそこなふ　鳥堂
○好事家春寒うすくみ居る　目池

東京文學博士 服部宇之吉先生　學習院教授 小柳司氣太先生 共著

詳解漢和大字典

奇蹟的賣行

◎時勢本書を熱求せる乎？
本書時勢を導きし乎？
十萬部普及版　特價金二圓
弊社の出版能率を數倍して尙且つ需要を充たす能はず

正價金二圓五十錢郵稅十六錢臺灣樺太朝鮮支那四十五錢
特製（春華インデクション附）特價貳圓五拾錢

◆一度使つた以上一生座右を離す能はず◆

念に念を入れて萬に一つ需要者の不足のないやうに苦心を凝したのが本書の最大强味である、從來の漢和字典に對する一切の不便不備は全く除かれ、一切の希望條件は遺憾なく滿されて居る、どんな六かしい言葉でも說明は懇切平易、小學卒業の力さへあれば子供にでも引けるのが

本書ノ萬人向ナ特色デアル

學力に應じ用向に應じ、先づ精一杯に此字典を利用あれ、根氣よく利用する人には根氣よく何でも教へてくれるのが

本書ノ無盡藏ナ効能デアル

何よりも先づ使つて見る事である、使はぬ人には此字典の妙味は分らぬ、六かしい漢籍は元より毎日の新聞紙を讀むにも本書を利用あれ、一つの手紙一つの證書を認めるにも本書を利用あれ、文字を忘れた時、人から文字を聞かれた時、子供に文字を教へる時、即座に本書を利用あれ、間違つた文字を書いて笑はれまいと思ふ人は本書を利用あれ。學校、官衙、會社、銀行の必備品、各人常務の唯一武器、學生諸君の勉學の友、家庭の重寶、行く處として可ならざるなき萬能の利益は

本書を使ふ人にのみ與へらるる最大特權である！

內容見本進呈　往復葉書御申込次第

著者　服部、小柳兩先生は、現代漢文學界最大の權威也。本書は實に兩先生が十餘年間苦心の結晶なり。
體裁　四六判形二千餘頁厚さ二寸四分秤量四百匁、泰西辭典の新式に則り簡便にして最實用に佳なり。
本文　新鑄六號活字十九字廿七行三段組總字數三百廿萬字、組方は現代技術の極を盡し、印刷最鮮麗なり。
特色　收むる所の漢字、熟語無慮七萬、最新語は苟くも漏さず、一切現代の要求を本位として選擇解釋す。
索引　在來の部首索引の外、發音式五十音索引及全畫索引を添へ、附錄の草字便覽と共に便利無比なり。
價格　特價金貳圓　これ萬人實用の爲に、十萬部普及を標準とせる破天荒の安價なり。

有力なる裏書

中等學生唯一の漢和字典として忽ち全國三百餘校の指定となれる何よりも有力なる本書に對する裏書ならずや!!

東京神田　富山房　振替五〇一
賣捌全國書店

▲底強く保合　大阪電報らざる入電に十三圓五十二錢
▲後場の手振
▲⑪能く買ふ
▲㊥の商内

○米國對獨艇發砲命令

米國武裝商船問題決定し獨逸潜航艇發見次第發砲せよとの命令發せらる從つて米獨の開戰は略確實となれり右の結果平和論者は躍起運動を開始せり(桑港電報)

○駐支獨公使正式回答

駐支獨逸公使ヒンツエ氏は去る三日口頭を以て非公式に支那の抗議に回答せるが十一日夜衆議院の外交方針決定し並に參議院の形勢愈々非なるを感知したるより同夜十二時正式回答書を外交部及び段總理に提出せるが要するに遂は斷交期日を成る可く遷延せしめんとの魂膽より出でたるものなり(北京特電)

○英軍バグダッドを占領す

倫敦來電=英國公報に依れば英軍はバグダッドを占領せり(紐育電報)

○是れ日支親善の實現

汪特使一行安東縣着=劉參事官談

遣日特使汪大燮氏は隨員駐日公使館參事官劉崇傑以下十一名を隨へ十二日午後四時安東驛著田村領事方東邊道尹等日支官民多數の出迎を受け貴賓室に少憩の後六時三十分發列車にて渡日の途に就けり汪特使は任務終了迄は何事をも語らず劉參事官の談を聴くに特使一行は途中神戸に一泊し十六日東京驛著の豫定なるが一切のプログラムは章駐日公使が宮內省及び外務省と打合せの上電報ある事となり居れり特使は大勲章捧呈の後四、五日にして國賓としての待遇を辭し月末東京出發歸國の豫定なり尚特使渡日は日支親善の實現なれば兩國の交情は之れより益々親密となることを疑はず殊に段兩氏の衝突も一段落を告げたるを以て今後國務は無事に進行すべし云々(安東縣特電)

○定例內閣會議

定例閣議は一日を繰り上げ十二日午前十時より永田町首相官邸に於て開會後藤內相、仲小路農相、加藤逓相欠席の外首相以下各大臣出席本野外相より外交經過に關する報告幷に意思の交換あり終つて內務、逓信所管に關する人事外一件を協議決定し散會せり(東京電報)

○上旬外國貿易

千五百卅餘萬圓の出超

大藏省の調査に係る三月上旬の外國貿易は輸出は燐寸、毛織物及び石炭等減少せるも銅、羽二重及び生絲等の増加に依り前旬に比し二割四分即ち三千七百二十三萬圓を増加し輸入は鐵、硝石其他に於て増加せるに拘らず棉花、油糟等の減少に依り七分五厘即ち二千百九十九萬一千圓の減少を見、出入差引千五百廿三萬九千圓の輸出超過を示せり(東京特電)

○政務總監著關

山縣政務總監は十二日朝鐵路下關に到著せり(門司特電)

○七回移民渡來

今春內地より移住すべき第七回東拓移民は本年臘褻のため移住期例年より遅延の傾きあるが最近同府の調査に依れば二月以來の渡來數は約二百戶內外なるもの、如く乃ち移住承認數の四割強に過ぎず尙ほ移住期は二月末にて特に會社は三月末迄猶豫し居れるも四月に入らば釜山に出張し居る移民案內人は引揚げしむべしと

○梁山水電調査

慶尙南道梁山郡熊穂山より出で梁山邑を經て洛東江に流下せる溪流を利用して水力電氣發電所を設置せんとする計畫は先に神戶の鈴木商店及び福岡縣某氏等に因りて企圖したることありしが冬期は結氷の恐れなしと雖も水量減少して豫期の動力を得る能はず計畫に不適當なるの故を以て何れも絶念し居たりしが今回釜山の貿易商中村俊松氏は實地踏査の結果從來計畫の場所より數丁上流に於て水池を設け相當の施設を爲すに於ては冬期減水の際の不足を補ふを得べき見込立ちたる由にて附近に製絲場を設け該水力電氣を以て動力に充て尙餘力を附近の點燈用に供給せば有利の事業なるべしと梁山郡衙に謀りしに同郡衙に於ても地方發展上中村氏の計畫を援助する爲め郡書記當島孫六氏を釜山に出張せしめ資本家に說き中村氏の斡旋せしむる[illegible]となし去る十一日釜山に到著したるに因り專門家を派遣して實地踏査せしめ工事設計畫を作製せしむる筈なりと因に慶尙北道に於ける昨年中の繭生產額は約二千石なりしも本年よりは漸次增額を見るべき見込なるに由り製絲原料には敢て不足を感ずるが如きことはなかるべしと(釜山)

○親日告示文

[illegible]

○米產虹鱒卵著

米國產河鱒卵十萬粒は過般到達、密陽及び高原兩孵化場に於て孵化飼育中なるは本紙既報の通りなるが河鱒卵と同時に總督府より米國政府に依囑せる虹鱒卵八萬粒も亦た二月十六日シヤートル發日本郵船會社靜岡丸に搭載三月十一日神戸に著せるより總督府にては受取りの爲め水產課員を同地に派遣したり、同卵はアイオワ洲水產試驗場の採卵にかゝる發眼卵にして到著の上は河鱒同樣密陽及び高原孵化場の二箇所に於て孵化飼育せしむる豫定なり

○棉花栽培事業の概況(一)

今や試作時代を經て普及期に入る

從來朝鮮に於ける棉花は被服の原料として多く消費せられ其の栽培は風土の關係上頗る好適せるを以て咸鏡北道を除くの外多少栽培せられざるはなし就中全羅南道は主產地にして作付面積廣く產額多きを以て此地の生產品は全道に供給し來れり然るに明治卅五年海外輸出の端緒を開きてより以來は年々有望なる經過を見るに至れりと雖も其の品質の優良ならざると栽培法の幼稚なるは到底其の

▲產額を增大 ならしむる能はざるを以て之が改良の必要は識者の注目する所となり明治三十七年木浦日本領事館に於ては品質優良にして收量多き米國種陸地棉を同港の對岸高下島に栽培を試むるに至れり其結果稍滿足なる成績を得たるを以て明治三十八年春期我內地の有志相謀りて陸地棉の繁殖を圖るを目的とし棉花栽培協會を設け陸地棉を南朝鮮地方一帶に普及せしむることを企圖し當時の財政顧問に請ふて韓國政府より補助金を得たり統監府農商工務部は財政顧問と協議の委託に應じ勸業模範場技師を木浦に駐在せしめ各所に棉採種圃を設置し棉作

▲改良の指導 に當らしめたり試作の結果は期待せる如く收穫(綿)歩合共に多く而も其の品質優良にして繊維の細長なる紡績原料として遂に在來棉に卓絶せるを確めたるを以て明治四十一年に至り木浦に臨時棉花栽培所(現在勸業模範場木浦支場)を設置し從來の事業を襲踏して各所に棉採種圃(棉花栽培獎勵の爲め所員を駐在せる所)十三箇所を設け陸地棉栽培の實地指導をなし、[illegible]栽培反別の擴張を圖る爲め獎勵金を支出せり之等

▲獎勵の結果 は年々二倍以上に作付反別を擴張せるを以て大正元年度には棉採種圃の數を三十箇所とし獎勵の便宜を圖らむが爲め何れも之を其の所在各道廳の所管に移し勸業模範場木浦支場にては試驗調査の外主として米國より新規輸入の種子馴化に勉め兩者相俟て陸地棉の普及と在來棉栽培の改良とに努力せしむることゝせしが其の栽培區域の擴張に伴ひ棉採種圃制度を以て之が指導監督を爲すは不便なるを以て大正二年度より從來の棉採種圃を全廢し陸地棉栽培地の各府郡には其の所管道廳をして

▲棉作に經驗 ある技術員を駐在せしめ府郡の職員と協力して栽培指導を爲さしむることゝせり明治三十九年以來陸地棉種子の無償配付數量左の如し

年次	數量
明治三十九年	七六、九〇〇斤
同四十年	一〇、七〇〇
同四十一年	四二、六〇〇
同四十二年	八九、一六六
同四十三年	二三〇、〇〇〇
同四十四年	四七五、七五五
大正元年	一、一五六、九一三
同二年	一、九〇九、二二一
同三年	一、八一一、一三〇
同四年	一、六三二、三九八
同五年	二、〇四〇、〇〇〇

而して大正五年度の陸地棉作付反別は四萬七千九百餘町步に及べるを以て此の趨勢にて進むときは有終の効果を見る蓋し遠きにあらざるべし

○江原道鰊大漁

江原道杆城郡盛津里より新興里に至る間に於て本年一月十二三日頃三吉福太郎なる者始めて鰊漁業を試みたるに意外の漁獲ありたるを以て附近の漁業者之れに倣ひしに其後魚族漸次蝟集し來り頗る豐漁なりしかば遂に元山を始め咸鏡南北道慶尙南北道斯業者の識る所となり爾來漁業者の此の地に出漁するもの漸く多きを加へ二月初旬頃に漁船六十餘隻を數へ漁夫八百餘名の多きに達したるが其の後益々豐漁となり港內は殆ど漁船を以て滿たさるゝに至り二月二十日迄には漁船百十餘隻漁夫一千二百餘名となり漁獲高は二月二十日迄に鏡津郡附近の者のみにて二千二百馱(一馱二千尾)價格五千圓其他の者は一萬二千馱價格二萬四千圓合計二萬九千圓の漁獲ありたりと

○府稅と鑑札制度

脫稅者防止の必要

京城府に於て現在鑑札を附與しつゝあるものは自轉車及び畜犬の二種のみなるが此の他人車馬車荷車等の如きは從來警察署と聯絡を執り課稅しつゝありしも斯くては自然脫稅者を出すの弊害あり又之れ等のものに對し一定の鑑札を附せざれば通稅者檢擧の上に於ても不便尠からざるを以て府は近く條例を改正し一定の鑑札附與の方針なりと因に久しく著手せざりし自轉車脫稅者に對しても近く又復檢擧勵行を爲すべしと

○汪特使の通過

支那日本特派專使汪大燮氏一行十二名外に隨者六名は十二日午前五時奉天著同八時發南行せり我皇室への獻上產品其他貴重なる贈物を滿せる三十八個の大箱を携帶せり驛には日支人の送迎頗る盛なり(奉天特電)

▲南大門驛著 支那遣日特使汪大燮氏は劉崇傑氏以下を隨へ十三日午前八時南大門驛著同八時三十分發東上すべし

○瓦電軌道延長

朝鮮瓦斯電氣株式會社は此程開會せし株主總會の決議を經て市街電車線路の延長を爲し交通機關の實を擧ぐることに決定したる趣なるが從來同線路は土城町富城橋町を起點とし大廳町を經て埋立に到り左折して草梁釜山鎭に到る一線なりしを今回の計畫にて同社當初の設計の如く郵便局前より行折して長手通に出で富城橋に到り既成線と合し市街を一周する計畫を實行するものなるを以て斯くて市街機關たるの實を擧ぐべく又た其効力も發揮し得べし當面社の新計畫として釜山より東萊に到る自動車の運轉及び電力增加の計畫ある由なるも其實現に就きては時機を待つの要あるを以て直ちに實行は爲し能はざるべしと(釜山)

○京畿畜牛賣買近況

大正五年十二月末現在の調査に依れば同年中京畿道管內に於ける畜牛賣買狀況は京城仁川の二府及び高陽一郡を除き十九郡內に有する六十二箇所の市場に於て生牛出場頭數十八萬二千零八十二頭賣買三萬九千百八十七頭此賣買價格十二萬四千六百四十二圓を示し犢牛は出場頭數八萬七千百七十頭賣買頭數二萬四千八百八十七頭此賣買價格二十七萬一千百五十三圓を示せり而して前年に比し賣買頭數の減少せるに不拘價格の增加せるは牛價の騰貴せる爲なりと

○經濟研究例會

十二日午後六時より銀行集會所に於て例會開催會員出席四十餘名晚餐を共にしたる後勸業模範場長本多博士の亞米利加視察談あり續いて會員の質問に對し博士は懇切なる說明を爲し十時散會したり

○機關檢查員講習會

全道憲兵警察所屬機關檢查吏員講習會は十二日より憲兵隊司令部講堂に於て開催せり期日は十四日迄の三日間にして每日午前九時より開始し講師は岩崎鐵道局技師、醫務總監部甲斐警部、寶田技手の三氏之に當り法規機關及び檢査心得實地指導の四項にして十二日は講習員二十五名に對し警務總長より訓示あり又中野保安課長よりも訓話ありたり

○大橋少佐歸任期

憲兵隊司令部高級副官大橋少佐は豫て東京に於て開催の憲兵隊長會議列席の爲め出張中の處十日夜新橋發の列車にて歸途に就きたるが途中に所用あり多分十七日頃歸任すべしと

○朝鮮新聞發賣禁止

仁川にて發行せる朝鮮新聞第五千六百三十七號(三月十一日附)は揭載禁止事項違反の廉により發賣頒布を禁止されたり

支那遍歷(第三信)

中島生

北京より天津

奉天驛頭

北京到著の翌朝扶桑館の一室に於て一筆。奉天驛頭ヤマトホテルの樓上偶ま鮮銀小西支店長に邂逅、寛談抄候。奉天官場の紛紜も、此の處一寸落付きの態にて、一時は城壁に機關銃まで据付けて騷ぎたる由に候。張督軍も嘸かし安心の事と祝著至極に存候。督軍の日本行は自身頗る希望し居るも、當分奉天を空にしてまで出遊は覺束なかるべく候。同地の日本人商業會議所の組織改善問題目下攻究中にて、從來其の議員たる者は城內在留の人に限り、滿鐵附屬地の人は除外せられしが、それでは不公平と謂ふので、附屬地の人をも一括して、完全なる日本人の商工業會議所を組織せんとする計畫と聞及び候。近く實現を見る事と存候。滿洲に移住せる朝鮮人の狀態については、朝鮮內に於ても、心配せられつゝあり。然るに近時在滿邦人官民の之に對する同胞としての待遇は著しく改まり、彼等をして不遇の嘆なからしむる爲めに種々斡旋盡力中と聞く。是れ洵に欣ぶべく、且つ朝鮮人自身に於ても、思慮ある者は今日大に醒覺し、妄りに排日的煽動家の言に惑はさるゝことなく、鮮人の地位向上の爲めに、進んで貢献するものあり。是れ重ねて喜ぶべきの事に候はずや。大正六年三月五日北京に於て

○閔泳韶子爵卒去

從四位子爵閔泳韶氏は豫て病氣の處十日午前〇時十分終に卒去せり葬儀は十七日午前七時壽松洞の本邸出棺同九時龍山停車場前に葬式執行の上十八日午後四時龍仁郡二東面時美里の先塋に埋葬すと

▲率先內地を視察す 十日逝去せる閔泳韶子爵は學部大臣、宮內大臣、農商工部大臣、中樞院議長に歷任し合邦に際して子爵に列せらる子爵は第一回の本社主催朝鮮貴族視察團長として率先して內地視察に赴きたる人にして彼の閔泳翊の歿後は閔氏一族の重鎭として朝野の重んずる所なりき享年六十六歲

人事消息

▲菱田義民氏(咸南第一部長) 十二日夜入京川本へ

▲尾山直治氏(久原精錬所技師) 同上

▲本田水原模範場長 同上巴城館へ

▲永山孝遠氏(東拓元山出張所長) 同上不知火へ

▲稻不島一郎氏(大邱實業家) 同上朝鮮ホテルへ

▲吉植庄太郎氏(東洋拓殖會社平壤出張所長) 同上南大門旅館へ

▲堀五郎氏(山下汽船會社員) 同上

▲西島新藏氏(東拓馬山出張所長) 同上浦尾へ

▲木松四郎氏(春川守備隊長) 同上

▲笹塚源四氏(東京貿易商) 同上

南言北語

米國大使ガスリー氏の死去は我國に駐紮の外國使臣として現任中に死去した人の八人目に當る▲露國使臣が一人英國が一人白耳義が二人米國は今度で三人目である▲今度のガスリー氏も運動中に頓死したが此前の智利公使エルボン氏は御大典の際京都ホテルで頓死▲その前の白耳義公使ダヌタン男は濱離宮で鴨御猟の際に頓死した▲外國使臣は頭腦を餘計に使用するものがよく腦溢血で急に死去する▲日本の海外駐紮使臣でまだ多く死んだ人は聞かぬ▲と云つて頭を使はぬ譯でもあるまい▲死んだと云へば廿世紀最大の獨逸人が死んだ▲と丈けでは判らぬ人も多からうが之れは獨帝が命名した例の戰爭中の花形ツエッペリン伯の事である▲ツエッペリン飛行船が倫敦攻撃の時や其他で能く射落されたのは伯死去の謎でもなかつたであらうが伯の死去はたしかに獨逸の大損害である▲伯林では近頃『十二時が鳴つた』の言葉が流行し新聞の標題抔にも盛んに使用されて居る相な▲其れは『又た十二時が鳴つたから戰爭終結の時機に幾分近付いた』と云ふ意味だとサ▲ボツ〱石垣から崩れ始めたので獨帝建築の砂上の樓閣も最う傾きかける頃だらう▲其壞崩する處が見ものだ

●京城中學校大田分敎室 生徒募集

本年四月入學セシムヘキ本校大田分敎室生徒約五十名ヲ募集ス詳細ハ三月二日以後ノ朝鮮官報又ハ本校或ハ大田學校組合ニ就キテ承合スヘシ

大正六年三月 京城中學校

初陣

特別讀物 投書の秘訣 記者 初陣 特別附錄

傑作數百篇 痛快無比の絕好讀物 少年小說四篇 滿載

本號 廿錢 郵稅一錢半 全國各書店 全國少年諸君の愛讀文

東京 時事新報社 發行

私立 日本獸醫學校

獸醫科(高等小學卒業又は中學二年修了者無試驗入學)獸醫工科、特典徵兵猶豫卒業後無試驗開業、一年志願、文官任用、實業專門學校入學等

募集 四月末日限 規則書要郵稅二錢 東京市外下目黑

小生儀今般學友村上熹佑氏の跡を襲ひ京城醫院を繼承診療に從事仕候間諸君同樣御交誼願上候

內科 胃腸科 小兒科 京城本町二丁目浦尾旅館向 京城醫院 電話七四二番

院長 岡山醫學士 鈴木茂

活動寫眞專門雜誌 活動之世界

撮影百話號

口繪廿四頁(四月號) ▲エザー・ポロ氏の雄姿 ▲アニタ・ステワート孃 ▲ベルタ・ネルソン孃 ▲アランシスフオード氏 ▲エレナ・コースカヤ孃 ▲ツリオ・カルミナチ氏 原色參品 メーアリゾン孃 ハム公 チビ公 ▲ロザーピクフオード孃 ▲撮影場面八種 ▲マタベ ▲撮影場面八種 ▲ネプチユーン ▲スの場面八種 ▲大小チヤプリン ▲名寫眞四種 ▲喜劇四種 ▲麗夜場面八種 ▲若き女 ▲中生 ▲空の女王 ▲此外新寫眞場面數十番版

▲新派悲劇 麗夜 ▲新派悲劇 うき身 ▲新派悲劇 龍卷 ▲新派 鶯塚

本誌の獨特記事 [illegible]

研究材料 益々充滿 [illegible]

◎活劇 快漢ロロー ◎活劇 金剛星 ◎活劇 女ロロー ◎悲劇 狂女王 ◎社會劇 審美人 ◎情劇 大選擧

▲神話 ネプチユーンの娘 ▲情劇 雪崩 ▲活劇 夏の思出

定價 一冊 廿五錢 送料 二錢

活動之世界社

資本金參百萬圓

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

明治三十八年設立

京城府南大門通一丁目十四番地 株式會社 漢城銀行

長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍

電話 六四六番 二三九番 振替京城一八六二番 二〇五番

支店所在地 水原、平壤、大田、開城

出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

昨年來當地に於て出張治療中の處患者各位の希望に依り今後一ケ月間引續き治療に從事す

久枝肛門病專門醫院

痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔 外一般

京城長谷川町安東病院內 電話七三番

ばい毒 特にわきが 外科 皮膚病一般

痔疾

仁川(宮町交番斜向) 專門病院

……する者頗る多く……我……宜しく賓主の誼を……の邦なれば宜しく……くす可し況んや我國士商の日本に……する者に對し彼國士民は禮を以……

●奉天取引所 計畫の其後

西宮、瀧谷、松尾の諸氏を創立委員とし名稱を奉天取引所信託株式會社と……位置を奉天新市街とする事丈けは確……督軍の忌諱に觸れん事を畏れて彼等は兎角逡巡して意嚮決定せざるを以……

●釜山

釜山中學校にては來る十五、六、七の三日間に來學舍より入學すべき生徒……決定したり……高等女學校生徒入學試驗は本月……年限は……

●腰間の大刀に反を打たせて 危篤に瀕せる黒田清綱子の逸話

鎌倉佐助ケ谷の別莊に宿痾を養つて居た黒田清綱子は五日の午後一時危篤に陷ると共に畏き邊りより

▲年來の勳功 を思召され六日特に旭日大綬章を賜ひしが歌人として名を當代に知らるゝ子爵は其半面に於て最も勇猛な武將であつた、慶應二年四月一日時の幕府は目付役小林甚六郎を

▲使者として 長州藩の公卿達を復位復官の口實の下に大阪に迎へ其途中密かに危害を加へやうといふ下心で九州へ派遣した此時公卿は筑前に逃れ五代藩の温かき庇護の下に閑居してゐたので薩藩から選まれた招待役の黒田嘉右衛門（子爵）は肥後藩の堀平右衛門川畑伊右衛門等を俱に斉しく

▲守護の任に 當つて居た其頃の子爵は今日の如き優にやさしき歌人ではなく薩藩中にも鬼黒田と噂されてゐる位であるから議論においても

▲武力に於て も群を抜き慓悍に鶏群中の一傑として見られてゐたこれより先六月二十八日故里鹿兒島を出發して筑前に向ふ途中幕府の目附小林が公卿出迎へとして二日市の旅館に陣取つたといふ

▲事情を耳に した黒田氏は猶豫ならずと夜の目も眠らず急行し三日の夜二日市に著くや直に幕吏の旅館を襲つたが折惡く不在といふので更に翌早朝

▲單身押掛て 面會した上「此度公卿方復位復官の事に御周旋なさるとの趣であるが以ての外の處置で本心甚だ我等の了解に苦しむ處である元來公卿方が長州から當筑前へ御渡海遊ばされたのは幕府が

▲朝命を奉じ ての上の事で薩藩初め他藩へその御守護方を命ぜられたのである拙者は陪臣ながら薩藩から御守護方を命ぜられて當所へ來てゐる以上、おめ〱公卿方を他へ御移し申上げる事は斷じて罷り成らん又假りに公卿方に於て

▲貴殿の說に 御同意があつても拙者は死を以て諫爭仕る考へであるから是非お連れ申したいといふのなら先づ以て天朝へ奏聞に及び天朝から君公に勅命があり而して拙者に御移轉差支へなしといふ御下命かあれば格別、なれども薩藩には僻國

▲積陋の風習 があるから非士連が如何なる大事を惹き起すかも知れんから」と腰間の太刀に反りを打たせて叱り飛ばしたのでさしもの幕吏小林も一縮に縮上り這々の體で逃げ戻つて了つたがあの折り此黒田氏が居なかつたなら

▲公卿連の命 は風前の燈火であつたに違ない今歌人として風月に餘生を樂んで居る黒田子に斯うした武勇談があらうとは恐らく知る人は少からう（安氏談）

●二十名の支那人 泣いて張督軍に直訴す

奉天督軍張作霖氏は去る七日午後三時我總領事館を訪ひ鄭家屯事件の陳謝を了へ大禮服の姿麗はしく騎馬の衛兵數十名を左右に護らせ歸途督軍公署前なる西轅門に差し蒐るや約二十名の支那人地上に拜れ伏し車上の張督軍を見るや突然聲を限りに慟哭し代表者らしきものが一通の上書を頭上に捧げて張督軍に渡さんとした此の時作霖の督軍閣下は突然の大聲に聊か驚いたるものゝ如かりしも又直訴かと直に合點したるらしく一瞥を與へ置きたるきゝ威儀を正して公署内に入りたり直訴人の代表者二名は上書と共に副官に伴はれて公署に連行されたるが直に放還されたる由但し上書の内容は未だ知る能はざるも多分地方官に對する不平か或ひは何等かの救濟方を直訴せんとしたるものなるべし（奉天）

●山火事三晝夜に亘る

慶南梁山郡下北面龍淵里内國有山地より二月二十二日午後十時頃發火し烈風の爲め火の手擴がり里民多數の消防も其の効なく三晝夜鎭火せず遂に五十餘町歩を燒き拂ひて二十五日午後四時頃鎭火せり損害約三百圓位なりと

●樂屋で膝を崩さなかつた 相撲と金魚の大好きな故寶生九郎翁

幼少の時から故寶生九郎翁に師事して斯道を究め今では京城謠曲界一方の重鎭たる渡邊成三氏の追悼談に曰く、翁は資性瓢逸恬淡全く藝術家肌の人だつたが子弟の教導は却々嚴格で

◇素人筋の連中などに對しては隨分厳しい稽古をつけたものであつた、扨して此の道に就いては自分も亦た身を持すること甚だ謹嚴で樂屋に居る時などでも嘗て膝を崩したことすらないといつた風であつた、然し他流に對しては叮嚀親切、例へば舞臺に勤めて鼓の打方とかワキ師の撥り方とかそんな事まで一々懇篤に指示教導の勞をとつてゐた、翁は昔しから角力と金魚が好きで角力は場所毎に缺かした事がなく

◇金魚は夏になるとよく内弟子達が集めて水を代へさせたが翁は其の賃銀だといつて盆や節季に他方から貰つて來た商品券などを取り出し惜し氣もなく其れを振撒つたものであつた、翁には子供は有つたけれども夭逝した、家名は多分松本長氏が襲ふ事となるだらう、然し町田政吉氏も同門中其の技藝に就いては松本氏と伯仲の間に在る人だから未だ判然とは定まらね、兎に角故梅若實櫻左陣の兩氏と共に斯界の三名人と謳はれ且つ

◇金春、寶生、金剛、喜多、觀世 五流の名家元總監督の位置に在つた翁を失うた事は啻に斯道の一大打擊たる許りでなく延て我邦藝術界に及ぼす損失は決して鮮少でない

「あら、蝶が來てよ！姉さま！」午後三時、連翹黄なり陽炎燃えて

●磯部少佐重傷を負ふ 佛軍從軍中

里昂來電に依れば佛軍に從軍中の日本飛行家磯部少佐はヴェルダン附近にて重傷を負ひたり（大阪特電）

●八名の凍屍體を發見す

山陰線濱坂九谷間開通以來豪雪の爲め不通と成りし山陰線濱坂九谷驛間十二日除雪開通したるが當日八名の凍屍體發見されたり（大阪特電）

●巫女を招んだのが惡いとて毆る

慶北醴泉郡□□面□□里安億龍（三九）は同郡別内面花溪里朴石鉉の長男に妹を嫁がしめ居れるが石鉉方にては□□なる巫女を招きて祈禱をなすより億龍は之れを嫌ひ居れる矢先き一月二十八日午後六時頃石鉉が京城より歸途烏梅里の抱川街道にて出會したるより億龍は石鉉に巫女を招くは不都合なりと毆打し途に格鬪を初め石鉉に治療十日を要する創傷を負はせ同人より億龍は告訴せられ忠愛里憲兵派遣所に引致さる

●身長一丈餘の大虎を斃す

全南順天郡松光面落水里附近には猛獸類多く潛み居りて人家近く出沒し土地の住民も非常に困り居たるが數日前大分縣人大島鶴平（三二）が勢子三名獵犬二頭を引連れ來り鹿一頭猪一頭を獵したる際猛虎の足跡を發見せるも夕暮の事なれば一應引き歸し翌早朝より足跡を逐ひたるに其猛虎は金山に潛み居る樣子なれ共勢子等は餘り大なるに恐れて前進せず大島一人にて進行を續けたるに山の中腹にて一頭の大虎に出會ひ携ふる二十六番村田銃に實彈をこめ一發放ちたるに何れにか命中せし樣子なりしも何分大虎の事とて物凄じき大聲を發し居るにぞ續いて又一發都合二發の命中に流石の猛虎も打ち斃れし爲め勢子四人にて落水里に搬ぎ來りたるに土地の住民歡喜一方ならず聞けば同人は今年になりて猛虎の狩獵二頭目なる由同人は朝鮮に來りてより二十一頭の大虎を獵し其内一番大なる分は百二十六貫に達せる逸物なり今回のものは身長一丈餘目方六十貫を數へ之れ又稀しき大虎なり同人は身に四十一個所猛虎に噛付かれし跡ありと（光州特信）

●佐和丸撃沈さる 愛蘭沖にて—乘員十六名救助さる

海軍省着電＝日本汽船佐和丸（三、五三二噸）は三月六日午後愛蘭南西沖に於て獨逸潛航艇の爲め撃沈されて乘組員中十六名收容せられたる旨佛國海軍省に通牒ありたり（東京特電）

●元和守 畸形兒を壓殺す

忠南保寧郡熊川面冠梧里居住兩班金用濟（五〇）の妻申氏（五四）は明治四十年舊十二月中猪口にして眼球薄白き畸形男兒を分娩したるが斯かる畸形兒を養育するは用濟が舊韓國時代に郡守を勤め人民を虐待したる天罰に依り不具兒を生んだなど世間より噂さるゝを虞れ仲名共謀の上件の嬰兒を直ちに壓殺して密葬したることを此程保寧警察署の探知する所となり取調べの上檢事局へ送らる

●公金を燒失す 面事務所の火事

九日午前四時頃咸南甲山郡雲興面事務所より出火し公金若干（金額未詳）建物書類を全燒し同五時四十分鎭火せり損害六百五十圓原因火鉢の殘火不始末より發火せしものなりと

●僞辭令で詐欺

京城清雲洞李景植（三五）は橫領前科一犯の曲者なるが昨年十二月中高陽郡龍江面東幕上里の孫秀範が山林看守に就職したき希望あるを探知し龍江面孔德里に某家の山林あれば看守になす運動をなしやるべしと欺き運動費名義にて金四十圓を騙取し印章を僞造して僞辭令を調製し之れを孫秀範に交付したること發覺し京城憲兵分隊に引致取調べの上檢事局に送られたり

●北鮮荒しの賊 元山で捕はる

咸南新興郡萬九川生れ金聖昌（三七）は元山を初め清津咸興會寧等にて五十日間に亘り數十回に價格約一千圓の金品を窃取し一兩日前元山停車場より高飛せんとする所を元山署の手に逮捕され餘罪ある見込にて目下取調中

●趙秉澤氏邸の雅宴

韓一銀行取締役趙秉澤氏は十一日午後一時より東大門外紅樹洞倚城樓に趙子爵同夫人令孃、松永道長官同夫人、久芳人事課長、入澤、今村兩部長同夫人、松井鍾路署長、石原、小松兩事務官並、阿部本社長、中村每申社長を招待し一日の清宴を催せり主人趙氏は特に夫人連の爲め内房を開放して觀覽に供したるが室内の清潔を整理の行屆けるを見て嘆賞し夫人連の最も注意を惹けるは炊事場物置の奇麗に整理されたる事にあり斯くて賓主打解けて歡談に時を移し放生の舞、籃上舞等の餘興あり午後五時三十分散會せり

●慈善演藝會

聯合軍傷病兵慰問金募集慈善演藝會は來る十七日午後七時壽館に於て開催の筈にて目下其準備と入場券の賣捌きに奔走中なるが赤色入場券は賣切れの盛況なりと尚演藝番組は左の如し

[illegible]

●大阪屋號の出火

十二日午後七時十分京城本町一丁目二十八番地書籍商大阪屋號の裏手丸五半居延一棟の物干場より發火したるを同家雇人發見し直に店員馳け付け消止めたるが京城目抜の場所柄とて一時は却々の混雜を呈したり原因は多分煙草の吸殼ならんと

●泥醉者から強奪

慶南統營郡統營面新町蔡基相（三二）妾元甫伊（二七）兩名は共謀し三日午後十一時頃泥醉したる同郡遠梁面老大里鄭學基（五〇）を同地吉野埋立地に連れ行き同人を打倒して所持金十圓を強奪して逃亡せしも翌日兩名共統營署に逮捕され目下取調中

●警官に化ける

元山中里生れ清津新岩洞居住の賣藥行商孫日甚（三二）咸南安邊郡瑟谷面城前洞宋光和（二七）の兩名は共謀し咸北富寧郡富居面篤洞の姜鶴俊が數萬圓の資産家なるを探知し三月一日夜一名は黑の詰襟服を著し恰かも巡査補の如く裝ひ何れも繩及び手帖類似用のものを携へて鶴俊方に赴き汝の家には多量の阿片煙を所藏し密賣する由探知したれば之が押收の爲め來れりと稱し家人全部を捕縛して品の家宅搜索をなし居れる内里民蝟集し來りたるより狼狽して逃亡したるが此程兩名共清津警察署に逮捕されたり

●二人強盜

全南光州郡瑞坊面牛山里李孝燮（三五）同面中興里金東洙（三〇）の兩名は二月十四日夜庖丁を携へ光州郡本村面龍頭里崔喜順（六〇）方に侵入し家人を脅迫して現金三十圓外衣類雜品數十點（百七十九圓餘）を強奪して逃亡したるも此程一名は酒幕に一名は倉庫内に潛伏中を光州署の手に逮捕されたり

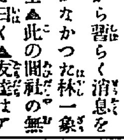
●龍山鐵道野球仕合

十一日龍山鐵道公園に於て龍山鐵道倶樂部選手對龍山鐵道工場の野球戰あり當日は稀れに見る野球日和にて何分今春の開幕戰なるを以て好球兒を躍らせたる事一方ならず午後二時龍山運動部幹事高橋氏の審判の下に始まる龍山工場軍投手岡本氏は旅順工科學堂の正投手にして過般東京天狗倶樂部の渡滿の節東京軍を擊破したる勇士なれば工場軍第一回戰より氣勢大に揚り鐵道軍を屢々死地に陷れたり其戰況は工場軍先づ攻不振、鐵道軍亦振はず五回鐵道軍總部ヒットに出で松島のサクリファイズに一點を回復す六七回鐵道軍又二點を獲得し守備堅固にして振く能はず三對二を以て勝利は鐵道軍の手に歸したり

●長崎縣人會

京城龍山在住の長崎縣人會は昨秋發會式を擧げたるが今春の大會は多數の希望により花時に先ちて催す事となり來る十七日の土曜日、京花月に於て開催先づ役員の選舉、會員名簿の作成等具體的成立を議し了つて懇親の實に移る可く出席者は豫め夕刊廣告の箇所に申込み置き會費金武圓當日持參され度しと

うわさのうかさ



▲山口縣知事に成つてから暫らく消息を聞かなかつた林一象居士▲此の閑社の無佛居士に書を寄せて曰く▲友達はアーカコーカと心配するが私しやコーシて暮しチヨル」と都々逸調だ▲聞けば一象知事閣下近頃の政爭喧々を外にして其官邸に舊知の雅友横地山口高商校長其他二三の友を集め▲京城から持ち歸つた銅佛だの古錢だの書畫だのと骨董屋の店開き宜しくの體に押し展げ▲『御批評を乞ふ』と云はれた處でお客の方は『結構ですナ』づくめ▲一象閣下ヘエンと咳一咳其の故事來歷、掘り出した所謂れ因縁を述べ立てゝ大いに來客を感服させた後▲さて自慢のものは之れからだと取り出だすのが數個の古硯▲朝鮮硯の御講釋が附錄で、この古硯、此邊の住處で主客一幅の繪本へ寄書▲何れも劣らぬ風流人あやめ、杜若の其の中へ一象知事『うぐひすの初音に晴るゝ朝時雨』と墨痕淋漓たるものであつたさうだ

競爭入札購買 朝鮮總督府遞信局
一、發電用亞鉛參百個
詳細ハ參月拾貳日ノ本府官報ニ在リ

生徒募集
本科生 百名
專修科生 三十名
撰科生 若干名
本科は尋常小學卒業以上の素養ある女子に裁縫を主として修身、國語、讀方、作文、習字、手藝（刺繍、造花、生花、茶之湯）洗濯等を授く（修業年限三ケ年、月謝一圓五十錢）專修科は裁縫を主として手藝を授く（修業年限一ケ年、月謝一圓五十錢）撰科は裁縫及手藝中一科を授く（月謝一圓）遠路の者には舍内に寄宿舍の設あり教師監督す
京城三角町九一（朝鮮商業銀行裏）實修裁縫學舍 電話二八一七番

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛。右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區先願權）
鑛業經營資金、融通、鑛物買入
猶實地調査の都合有之候間御希望の方は至急御申込み被下度候
京城明治町一丁目七番地 正己鑛業所 主任 熊谷忠直 電話一五九番

京日案內
普通 一回金……番外 一回金……
▲市内及び地方込は……▲六回以上の御申込は特に……▲御照會の節は返信料……

普通
●配達人至急募集希望の者は本人來談あれ但し市中確實なる保證人を要す 明治町二丁目町田新聞部 676
●配達人至急入用志望の者は本人直接來談の事 京城黄金町三丁目安藤病院横 京城新聞社 679
●店員入用●十六七才身體強壯の者至急雇入希望者は本人來談●明治町三ノ四八番電二二八九瀨川中央堂 678
●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御融通御來談 京城大和町三の三二（掛臺前）起木屋 677
●鮮人石版印刷技工熟練者數名募集精巧者には高給を給す 京城黄金町三丁目二九一 大盛堂印刷所 675
●金融 有給者信用並日掛其他擔保證書土地家屋質札買 京城吉野町一番地 電話二七七二 ミナカワ 659
●古本熱心高價買入●是非御試買を乞ふ 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆 群書堂 631

番外
はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 616
●女事務員募集 午前十時前後本人來談 京城太平通二丁目百二番地 滿鮮評論社 680
●京城春川間毎日午前八時出發 京城春川間行自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 主務 金正淵 廣橋自働車組 621
恩給年金立替 即時取引退職料一切千圓以上別契約 京城櫻井町元祖（大正館向）博多屋本店 641
恩給年金立替 短期無保險 利子極安即時取引 京城若草町一ニ（金光教裏手）電話二三九一番 國江商會 616

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下難有深謝奉候混雜中御尊名伺洩も可有之乍略儀以紙上御厚禮申上候
三月十三日 本町一丁目 株式會社 明治屋京城支店

校主齋藤先生監修＝正則英語學校編輯＝新學期開講入會の好機 會則付見本電話申込次第進呈
英語講義錄
獨學して而かも正則に英語熟達を欲するの人士は速かに來れ＝組織的講義錄に正式に懇篤丁寧なる講義は其優秀なる教授法により天下に鳴る我校に學ぶと同一の結果を得べし
會費 一月廿五錢一學級一圓卅錢（三學級二圓半全五學級六圓）
東京神田三河町一丁目九番地 正則英語學校 講義錄發行所（振替東京二五二六八）

村田 本店

模範 牛乳 石鹸 洗粉 ニウソ
場主 獸醫 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

怒濤の月

百五　小林蹴月作　武内桂舟畫

うたかた「十九」の四

鐃と太鼓の音は、うつゝのやうに聞えた。幸三郎は、段々好い心持になつて來たのである。寫生帖を膝の上へ投げ出して、片方の手に頬杖を支いたなり、ついうと〳〵と夢路を辿つて居ると、俄然！天地も裂けるばかりの凄じい物音が耳元に響いたので、吁と吃驚して眼を睜いて見ると、月が恰ど自分のおろかさを嘲笑ふやうな顔して、松の梢から真正面に冷かな光りを投げて居た。

『何の音だらう？波音に為ては餘り激烈過ぎるやうだが………。』

彼方此方を睨め廻はして最後に海の上を瞰下して居ると、二三艘の漁船がどん〳〵と篝火を焚いて、波の間に〳〵往きつ戻りつ為て居た。その紅い篝火の炎が、四邊十數間の海を照らして、宛然紅霞を流したやうな美しさであつた。

『必定、彼の漁船で鐵砲を撃つたのかも知れない。併し、鯨でも捕るのであるまいし、海の中で鐵砲は可笑い。』

到頭分らず了ひで、巖を降りかけると、脚元に何やら引掛つた物がある。月明りで透して見ると、切れかけた藁草履であつた。ちゃんと行儀好く一足揃つて脱いであつたので、是こそお静が死出を急ぐ際の遺留品であつた事が分つた。幸三郎は、又今更に吐胸を吐いたのである。

『あゝ、静さんの遺物だ。』

幸三郎は、それをその儘見捨てゝ立ち去るに忍びなかつた。拾ひ取つて、古新聞へ包んで、手に持ちながら、此の悲しくもなつかしき蛇頭の巖頭を降つた。岩を噛む狂瀾怒濤の響きが、一歩一歩毎に耳元から遠かつて行くに連れて、鐃と太鼓のちゃんぽんの響きも次第々々に海の彼方へかすれた。併し、此の間に於て、彼は確かに『月の夜の怒濤』と云ふ調子に戦いて、何等か神秘的の暗示を藝術の神から受取つたやうな気がした。彼は私かに快哉を叫んだのであつた。

『いま一度出て來やう。』

開川の驛へ辿り着いたのは、夜の十一時頃であつた。最早到底上りの終列車には間に合ふべくもなかつた。豫定の通り、驛前の小さな旅店に一泊を頼んだ。勿來の山から吹き下す山風は、建付のわるい戸障子の隙間から、断然なしに吹き込んで寒かつた。

その夜の夢に、お静が龍宮の乙姫さまに化して、自分を呼び迎へて居る姿をまざ〳〵と見た。

翌朝飯の給仕に來た女が、五浦の者だと云ふ話から『海の中で鐵砲を撃つ事があるか？』と聞いて見ると、

『それは、不浄事があつた場合に海を清めるためだ』と、語つた。不浄事と云へば、何れ漁船が轉覆つて、遭難者が出來たとか、乃至は人間が岸から飛び込んで死んだとか云ふ場合を云ふのであらうが、偖は昨夜の鐵砲の音は、お静の死場所を清めるための呪ひであつたに違ひないと思つた。『鐃と太鼓の音をお前等も聞いた事があるかね』と、幸三郎は、更に訊ねた。女は失笑しさうに為ながら『彼れは、鐃鼓洞と云つて、五浦の二番目の崖下に大きな洞穴があるが、什うかすると満潮の加減で、大波小波が洞内へ打込む拍子に、鐃と太鼓の音を發するので、土地の者はそれをちゃんぽんと稱へて居るのだ』と、教へて呉れた。

お蔭で昨夜以來の疑問も、大いに氷解した譯である。もうお仕度を………この注意を受けて、上り列車に乗り込むべく停車場へ來て、赤切符を買はうと為て居ると、恰度今擦違ひに東京から來た夜行の列車が、此の驛へ着いた所で、三四人の旅客が眠さうな眼を擦りながら、プラットフオームから出て來た。

幸三郎は、何の気もなく、その人々の風采を見て居ると、突然先方から『おい、鮮澤君ぢやないか』と、大聲に喚つた洋服姿の男がある。

幸三郎は、所在無に怦手として、鉤手の顔を眺くと、思ひきや、中學の教師の村山一郎であつた。

『こりや、驚いた、村山君ですね。什うしてこんな田舎へ……？』

『僕が什うしてよりは、君が什うしてこんな處にまごついてゐるんだ。此の邊の景色でも寫生に來たと云ふ寸法かね。』

『實はお察しの通りですよ。その後は非常に御無沙汰を為て濟みませんでした。』

『いや、御無沙汰はお互さ。僕はね、近日學校の生徒を一團引率して、此の勿來の舊跡を實地踏査……るんで、旅程の順序やら、修學旅行にやつて來るんで、チト仲山だが、何などを下檢分に來たんだから、君も友達甲斐に是非附合ひ給へ』と、村山は、相變らず活潑々たるものであつた。

京城旭町一丁目入口　洋服店　子供チャン 坊チャン 嬢チャン　コドモヤ　電話取次三七九番　振替京城七六五番　○郊外散步の時季來る!!

□俘虜中の巨漢　日獨兵士の比較

十日の陸軍記念日に名古屋偕行社で行はれた師團長の記念祝賀會に參列者の參考として名古屋俘虜收容所では俘虜に關するいろいろの物を式場に出陳したが其中に「日獨兵體格比較表」といふのがある是は名古屋收容所四百餘名の俘虜と第三師團歩兵第六聯隊の下士、兵卒との

◇體格の比較を試みたもの

で、その結果によると

□一人平均の身長と體重

	身長	體重
日本下士	五尺三寸三分	十一貫、百三十六
獨逸下士	五尺六寸九分	十九貫、二百二十
日本兵卒	五尺二寸九分	十五貫、三百四十八
獨逸兵卒	五尺五寸九分	十八貫、七百九

といふことになる更に

□最も高い身長と最も重い體重

	身長	體重
日本下士	五尺六寸	十七貫、七百
獨逸下士	六尺七寸五分	二十四貫、八百
日本兵卒	五尺七寸六分	十五貫、三百
獨逸兵卒	六尺二寸	二十五貫、二百十

□最も低い身長と最も輕い體重

	身長	體重
日本下士	五尺四分	十二貫、八百
獨逸下士	五尺六寸四分	十五貫、二百四十
日本兵卒	五尺	十一貫、百三十
獨逸兵卒	五尺一寸四分	十三貫、百

に依つて見ると俘虜の中で一番の巨漢は、身長六尺七寸五分で、體重二十五貫二百八十といふことになる、隨分巨大なものであるが、尚ほこの比較表の外に、俘虜の製作になる細工物、模型、軍器品などをも陳列された、俘虜の手先の器用であることは今に始まつた譯では無いが既に製作して收容所事務所に差出して來たものを見ると、八細工の木彫物、油繪等にも

◇優に一家を成し

た筆技を見せて居るのがある、また一枚の板面に仕上げた押木細工がある、それは皆、葉巻の箱の板を巧に使用したもので、その根気の宜い事と、起面の珍なるには驚くべきものがある、話は轉るが、名古屋の俘虜勞役は既に、愛知郡御器所の岡本自轉車が勞役を附けてから、段々使役の願者が現はれて、現に東區布生町の加藤方へパン製造として一人の俘虜が通つて居る、廣小路のパン屋長榮軒も同様、鍋屋工場、すみ列、代官町の製薬合資會社等からも出願がある、右の中には既に

◇陸軍省へ願書の

出たものも、まだ出ないものもあるが收容所の方では陸軍省から認可の有り次第、俘虜を差向ける様に、ちやんと手筈を整へてある、此の調子でだん〳〵俘虜が私の範圍に擴がつて行くやうである。尚ほ、豫備兵卒のハルツングといふ男があつて、それは曾て青島の守備に召集されるまでマニラの煙草會社の檢査役を勤めて居た、煙草の鑑識とに勝れた技能を有つて居る、處が今度此の男を何地かの煙草專賣局に使役する事になり、俘虜情報局から、其素行調を當收容所へ移牒して來たといふ事である（名古屋）

新刊紹介

▲演藝畫報（三月號）東京名座の二月狂言を始め京阪道の各座の寫眞を載め記事には名優評傳、芝居入門、樂屋訪問記等見るべきもの多し（一冊三十八錢東京京橋區佐柄木町演藝俱樂部社）

▲遞友（一月號）會費十錢開城大和町一九六共會

▲夕空（三月號）十錢東京市日本橋區本小田原町九共發行所

▲常盤木（三月號）十五錢東京市小石川區東青柳町二九共社

▲食物の養生（三月號）十三錢東京市牛込區市ケ谷町五一石塚食養所

▲日の丸（四月號）八錢東京府豊多摩郡……交敬社

商況

大阪三品特電

大阪期米（十二日）

仁川期米

▲㊦能く賣る

▲今の商内

十二日の五月限

下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學士、加藤醫學士、山田醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

淋病新藥　ツヨール

◉創藥藥舖に販賣　發賣元　東京市日本橋區川瀬石町十一番地　ツヨール商會

關西代理店　大阪道修町　田邊五兵衛

▲本品は殺菌力強大にして絶對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、副睾炎、前立腺等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す

三十粒入　五十五錢
五十粒入　九十錢
百粒入　一圓六十錢
廿五瓦入　一圓

▲説明書無料贈呈す

東京帝科大學教授　醫學博士　高橋順太郎氏創製

結核性疾患新藥　ファゴール

◉諸博士實驗報告集無料進呈

ファゴールは最大の効果ある結核性疾患治療劑として學界の公認を得たるもの也……

一手販賣元　東京日本橋區本町四丁目　友田合資會社　振替東京一九三八番

關西特約店　大阪　武田長兵衛

消化と毒けし　仁丹

花見遊山に仁丹御携帶が肝心

金言　衰盛は万世不朽の人道（仁丹）

品質第一　誠實第一　賣行第一

キッコーウリー　最上醤油

釀造元　仁川港

日本醤油株式會社

京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

月やく　なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれば妙藥知らす　京城黄金町三丁目　山田しづゑ

丸山藤次郎商店

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　京城日報社寫眞製版部

資本金壹百萬圓

不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候

株式會社　京城　漢湖農工銀行　支配人　遠山熙

支店所在地　開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院

普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

价川輕便鐵道　列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後一二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	一一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後一二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前一一、〇五	後二、二二	四、三七	七、二八

大阪屋號書店

◉露西亞現代作家撰集　零落者の群　昇曙夢　九五
◉詳解漢和大字典　服部宇之吉・小柳司氣太共著　特製上製　特二五〇〇
◉口語法　芳賀矢一・正田太郎　四五
◉國民教育上字訓　三、〇〇
◉人生中心より見たる當來の文藝及び思潮　金子筑水　一、〇〇
◉法令兵礎小學校行事の研究　中島讓二郎・今川仙之助共著　九〇
◉國語の組織　大島正健　一、〇〇
◉主要語句文例英語の基礎　佐々木邦　一、〇〇
◉大正六年最近朝鮮事情要覽　六五
◉獅子吼　石川素童　一、三〇
◉無我の生活　新井石禪　九〇
◉佛蘭西文學　上田敏　一、九〇
◉當世百道樂　堀内新泉　一、九〇
◉講談文庫柳生十兵衛伊賀越　三〇
◉同　戸田新八郎　小金井蘆洲　三〇
◉トルストイ人道主義の兵站　七五
◉近代情話文陣第一篇　三勝半七　曲亭馬琴　四五
◉金沙集　茅野雅子　八〇
◉園藝要訣　瀬越篤作　六〇
◉受驗必携朝鮮六法要論　安達大壽計　四〇

京城本町一丁目電話六〇三六番　振替京城二五七三番

最新刊

大邱浦項間自動車時間

大邱出張部　大塚農場自動車所　電話一一七番

金泉醴泉間自動車時間　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船出帆
大連行、太沽（天津）行
和歌浦丸　三月十日正午出帆
相撲丸　三月十二日正午出帆
花咲丸　三月　日正午出帆
仁川海岸町十一丁目　堀　回漕部

尼崎汽船出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○有吉丸　三月十日後五時出帆
○君が代丸　三月二十日後五時出帆
○第二秀吉丸　三月十八日後五時出帆
○大代丸　三月二十三日後五時出帆
仁川海岸通五十九番地　杉　回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸　三月十四日後五時出帆
○立神丸　三月十三日後五時出帆
○元山丸　三月十二日後十時出帆
○第三琴平丸　三月廿三日後四時出帆
○元山丸　西湖津、新浦、城津、清津行　三月　日後六時出帆
○第三琴平丸　三月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天草丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬汽船の時は五分引以て運賃を收む
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
山東丸　三月十六日
濟州丸　三月十七日後五時出帆
山陽丸　三月　日
○天智丸　群山、神戸、大阪行　三月　日正午出帆
×濟州丸　三月　日
×木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
安東丸　三月廿七日後二時出帆
安東丸　四月十三日
○群山、釜山、横濱行
福州丸　三月二十日後二時出帆
群州丸　三月卅一日後二時出帆
△潮州丸
○鎮南浦、大連行
東安丸　三月廿二日後二時出帆
安東丸　四月八日
大連直航
×大州丸　三月廿五日正午出帆
×福州丸
×潮州丸　三月十五日
○清津、浦潮行（元山出帆）
印城津、西湖津二寄港　浦潮不寄港
△安平丸　三月廿五日後十二時出帆
△宮島丸　三月廿一日
△上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基北丸　三月十三日前六時出帆
湖北丸　三月廿九日後四時出帆
御注意　朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と連絡切符發賣仕候　●御乘船は本社船客係へ御申込被下度候
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番・二五〇番
切符發賣所　内國通運會社京城支店

伏見丸　大連行
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
仁川代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
三月十一日午後入港
三月十三日正午出帆

朝鮮郵船出帆
京城本社　電話一九五二番　京城南大門外　松原運送店
○金羅丸　月　日
○京畿丸　三月廿六日　釜山發
○黄海丸　三月　日
○成鏡丸　三月廿一日
門司より釜山各港寄港
○慶城丸　三月十四日　元山發
○咸平丸　三月　日
○鏡城丸　三月　日
元山より各港經由雄基行
○昌平丸　三月十九日　元山發
○德丸　三月　日　釜山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○襄陽丸　浦項發
○三江丸　三月十三日　釜山發
○海州丸　毎日　釜山發
○統營丸
○巨濟丸
○慶尚丸
○平壤丸　三月廿三日　元山發
○忠清丸
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○慶興丸　三月　日　木浦發
○慶州丸　三月十四日　木浦發
○公州丸　三月九日　木浦發
○江原丸　三月九日　仁川發
○晋州丸　三月　日　仁川發
○水原丸　三月十八日　仁川發
○錦江丸　三月　日　仁川發
○神戸、大阪行　潮州丸　月　日　正午出帆
○全州丸、南陽丸　毎日午前　仁川發